

# 日本気象学会 2012 年度秋季大会 企業展示機関一覧

今大会の開催期間中，以下の各機関による展示が行われます(2012年8月16日現在；50音順)．

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

株式会社ノースワン

株式会社ブリード

サイバネットシステム

日本無線株式会社

三菱電機株式会社

# 日本気象学会 2012 年度秋季大会

会期：2012年10月3日（水）～5日（金）

会場：北海道大学 学術交流会館（他：クラーク会館）

札幌市北区北8条西5丁目（他：北海道札幌市北区北8条西8丁目）

<http://www.hokudai.ac.jp/>

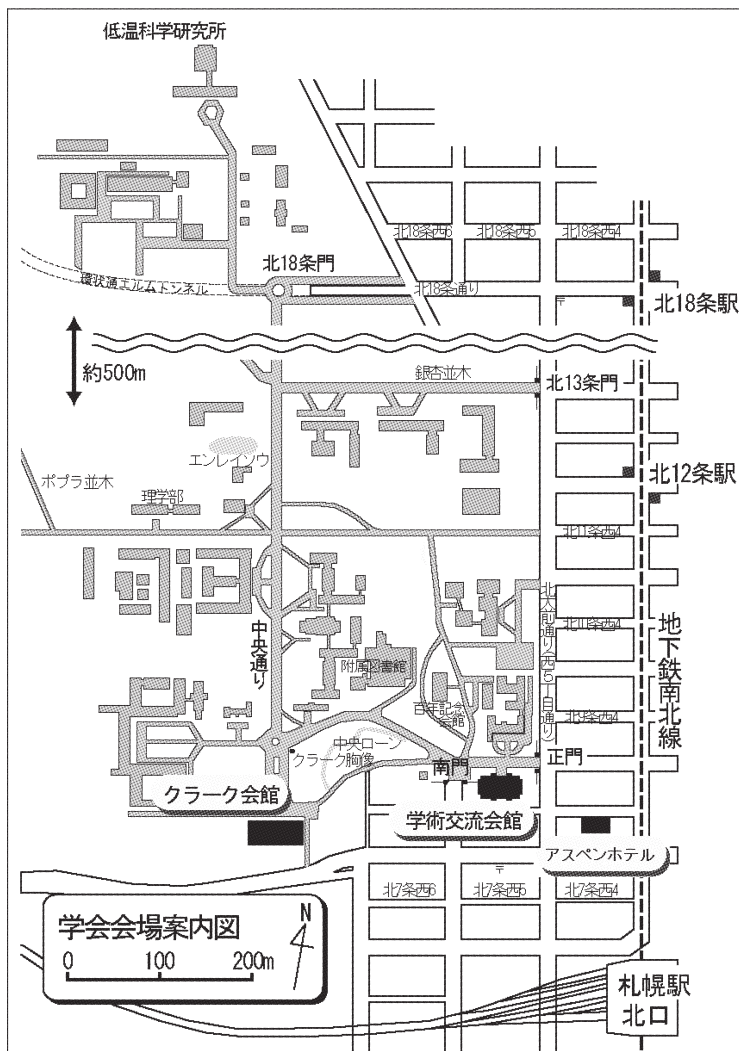
大会実行委員会担当機関：札幌管区気象台，北海道大学，酪農学園大学，(一財)日本気象協会北海道支社

大会委員長：牧原康隆（札幌管区気象台長）

当日の会場への連絡先：北海道大学 学術交流会館 会館事務所（電話：011-706-2141）

北海道大学（代表電話：011-716-2111）

## 会場案内図



## 交通案内

1. 新千歳空港からJR札幌駅まで  
 JR：快速エアポートが15分間隔で運行  
 所要時間36分，料金1,040円  
 バス：新千歳空港ターミナルからJR札幌駅まで（高速道路経由）  
 所要時間70分，料金1,000円
2. JR札幌駅から北海道大学学術交流会館まで  
 徒歩5分（JR札幌駅西改札口を出て右側の駅北口から）

## 大会行事予定

A会場 : 学術交流会館 講堂  
 B会場 : 学術交流会館 小講堂  
 C会場 : 学術交流会館 第1会議室  
 D会場 : クラーク会館 講堂  
 ポスター会場 : 学術交流会館 ホール, ホワイエ

シンポジウム・授賞式会場 : 学術交流会館 講堂  
 受付 : 学術交流会館 ホール  
 大会事務局 : 学術交流会館 第2会議室  
 懇親会 : アスペンホテル

( ) は講演数, - は座長

|              |                 | A会場  | B会場   | C会場   | D会場   |
|--------------|-----------------|--|---|---|---|
| 10月3日<br>(水) | 09:30～<br>12:30 | 降水システム I<br>(19, A101～A119)<br>- 斉藤貞夫 -<br>- 加藤亮平 -  | 観測手法<br>(18, B101～B118)<br>- 西澤智明 -<br>- 梶原佑介 -   | 中高緯度大気・相互作用<br>(14, C101～C114)<br>- 猪上 淳 -<br>- 早崎将光 -                                    | 気候システム I<br>(17, D101～D117)<br>- 水田 亮 -<br>- 鈴木パーカー明日香 -  |
|              | 13:30～<br>17:00 | スペシャル・セッション<br>「大気微量気体および<br>エアロゾルの同化と<br>その気候研究への利用」<br>(20, A151～A170)<br>- 宮崎和幸 -<br>- 関山 剛 -<br>- 弓本桂也 -<br>- 五藤大輔 - | スペシャル・セッション<br>「インド洋における<br>MJO 研究 -<br>CINDY2011」<br>(18, B151～B168)<br>- 米山邦夫 -<br>- 高藪 縁 - | スペシャル・セッション<br>「惑星大気科学の課題<br>と将来の探査計画」<br>(18, C151～C168)<br>- 高木征弘 -<br>- 今村 剛 -         | スペシャル・セッション<br>「次世代スパコンが拓<br>く超高精度メソスケ<br>ール気象予測」<br>(18, D151～D168)<br>- 露木 義 -<br>- 瀬古 弘 -<br>- 木村富士男 - |
|              | 17:00～<br>18:00 | ポスター・セッション (107, P101～P1a7)  |   |   |   |
| 10月4日<br>(木) | 09:15～<br>12:00 | 雲物理<br>(15, A201～A215)<br>- 小西啓之 -<br>- 石坂雅昭 -   | スペシャル・セッション<br>「気象情報の活用およ<br>び気象予報士の役割<br>について」<br>(11, B201～B211)<br>- 興語基宏 -                | スペシャル・セッション<br>「気象学・気候学にお<br>ける理論的・数理的展<br>開」<br>(12, C201～C212)<br>- 三浦裕亮 -<br>- 堀之内 武 - | 中層大気<br>(12, D201～D212)<br>- 木下武也 -   |
|              | 13:00～<br>13:50 | 山本正野論文賞・堀内賞・奨励賞授与  |   |   |   |
|              | 13:50～<br>15:20 | 山本正野論文賞・堀内賞記念講演  |   |   |   |
|              | 15:30～<br>17:30 | シンポジウム「気象学が地域の未来にいかに関与できるか? ～これからの北海道の地域づくりと気象学の研究～」   |   |   |   |
|              | 18:30～<br>20:30 | 懇親会  |   |   |   |
| 10月5日<br>(金) | 09:15～<br>11:30 | 降水システム II<br>(13, A301～A313)<br>- 清水慎吾 -<br>- 鈴木真一 -   | 熱帯大気<br>(11, B301～B311)<br>- 服部美紀 -   | 大気放射<br>(14, C301～C314)<br>- 竹中栄晶 -<br>- 萩原雄一朗 -  | 大気力学<br>(3, D301～D303)<br>- 黒川宏之 -<br>気候システム II<br>(11, D304～D314)<br>- 塩竈秀夫 -                            |
|              | 11:30～<br>12:30 | ポスター・セッション (108, P301～P3a8)  |   |   |   |
|              | 13:30～<br>17:00 | 物質循環<br>(20, A351～A370)<br>- 石島健太郎 -<br>- 須藤健悟 -   | 台風<br>(15, B351～B365)<br>- 山口宗彦 -<br>- 吉野 純 -<br>生気象・気象教育<br>(5, B366～B370)<br>- 杉山昌広 -       | 大気境界層<br>(13, C351～C363)<br>- 足立幸徳 -<br>- 名越利幸 -<br>気象予報<br>(7, C364～C370)<br>- 吉田 聡 -    | 気候システム III<br>(20, D351～D370)<br>- 川合秀明 -<br>- 野沢 徹 -   |

発表件数 : 539 件 (口頭発表 324, ポスター 215)

口頭発表の講演・質疑時間 : 7 分と 2 分

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail: kouenkaku2012a@metso.jp) まで。

## 大会参加費・懇親会費

### 大会参加費

- 大会参加費は以下の表の通りです。

| 大会参加費 |         |         |
|-------|---------|---------|
| 種別    | 前納      | 当日      |
| 講演者 A | 8,000 円 | —       |
| 講演者 B | 5,000 円 | —       |
| 聴講者   | 3,000 円 | 4,000 円 |

- 講演者の種別：
  - 講演者 A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）
  - 講演者 B：講演者 A に該当しない講演者
- 講演件数が 2 件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。
- シンポジウムのみに参加する場合は、参加費は無料です。

### 懇親会費

- 懇親会費は以下の表の通りです。

| 懇親会費 |         |         |
|------|---------|---------|
| 種別   | 前納      | 当日      |
| 一般   | 5,000 円 | 6,000 円 |
| 学生   | 4,000 円 | 5,000 円 |

### 支払方法

- 講演者の参加費の支払方法は前納のみとなっており、既に受付は締め切られています。
- 懇親会費及び聴講者の参加費を前納する場合は、大会ホームページにて 2012 年 8 月 21 日（火）までにお支払下さい（郵便振替の場合は 2012 年 8 月 14 日（火）まで）。それを過ぎた場合は当日払いとなります。

### 領収書

- 領収書は参加者本人の名義で、大会当日受付にて名札と一緒に手渡される予定です。
- 名義の変更が必要な場合には再発行が可能ですので、大会当日受付にてお申し出下さい。

### その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・懇親会費には会員・非会員の区別はありません。
- 非会員の方も規定の参加費・懇親会費をお支払い頂ければ大会・懇親会に会員と同様に参加することができます。

## 講演の方法

### 口頭発表（スペシャル・セッションを含む）

- 一般口頭発表の講演 1 件あたりの持ち時間は 9 分（講演 7 分・質疑 2 分）です。
- スペシャル・セッションの発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- 講演には PC プロジェクターを使用できます。
- 講演にあたり、予め以下の点をご了承ください。
  - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
  - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
  - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をとることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

### ポスター発表

- 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦 180 cm × 横 90 cm 程度となっています。
- ポスターの掲示には画紙・押しピン等が使用できません。画紙は会場に用意されています。
- ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守をお願いします。
  - ✓ 第 1 日の発表者は 10 月 3 日 09:00～18:00
  - ✓ 第 3 日の発表者は 10 月 5 日 09:00～17:00
- ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

## 保育施設の紹介について

大会実行委員会では、大会期間中の保育施設として、次の施設を紹介致します。

- ・北海道大学事業所内保育所「ともに」
- 住所：札幌市北区北 7 条西 9 丁目
- 電話：011-706-2151
- URL：<http://tomoni.ist.hokudai.ac.jp/tomoni.html>
- （個人での申込となります。）

また、保育施設利用料の一部補助を行います。施設を利用される方は下記までご連絡ください。

連絡先：岡田 聡（札幌管区気象台）

TEL：011-611-6147, FAX：011-611-3206

E-mail：satoshi.okada-a@met.kishou.go.jp

## シンポジウム「気象学が地域の未来にいかに関与できるか? ~これからの北海道の地域づくりと気象学の研究~」

日時: 大会第2日 (10月4日) 15:30~17:30  
 会場: 北海道大学 学術交流会館 講堂 (大会A会場)  
 司会: 松岡直基 (一財) 日本気象協会北海道支社

※シンポジウムの聴講は無料です

### 趣旨

人類は古くから地域の気象に関係した文化活動を展開し、気象は地域の営みに深く関わってきたといえる。しかし、現代社会の多くの分野では、気候変動や異常気象など気象学会が研究対象として扱ってきたさまざまな現象による影響を受けとることが危惧されている。2009年に開催された第3回世界気候会議では、気候サービスの提供者と利用者間の連携強化の必要性が認識され、利用者が意思決定に活用しやすい気候情報の提供を推進する「気候サービスのための世界的枠組み」を構築することが決定された。

本シンポジウムでは、北海道における気象を活用した地域づくりの例を、都市と村のそれぞれの立場から紹介し、それぞれの地域において気候変動や気象に関連した課題を提起します。その課題に対して、気象の研究成果がどのように活用できるか、気象学が貢献できる地域づくりとはどのようなものか、自治体関係者を交えて議論します。

### 基調講演 (\* 講演者)

- 1) 札幌市と気象の関わり  
\* 稲木 宏光 (札幌市市長政策室政策企画部企画課長)
- 2) 占冠村の展望と気象に関わる課題について  
\* 中村 博 (占冠村村長)
- 3) 気候・気象情報の利活用の推進に向けた最近の動き 「ユーザーインターフェース」をキーワードとして  
高野 清治 (気象庁地球環境・海洋部地球環境業務課長)  
\* 前田 修平 (気象庁地球環境・海洋部気候情報課エルニーニョ情報管理官)
- 4) 地域スケールの気候予測情報とその活用  
\* 佐藤 友徳 (北海道大学大学院地球環境科学研究院特任助教)
- 5) 気象・水文情報を利用した既存ダムの機能向上策について  
\* 中津川 誠 (室蘭工業大学大学院工学研究科准教授)

### 総合討論

## スペシャル・セッションの概要紹介

### 大気微量気体およびエアロゾルの同化とその気候研究への利用

日時: 大会第1日 (10月3日) 13:30~17:00

場所: A会場

趣旨: 大気環境の監視と予測及びその気候への理解に向けて、大気微量気体とエアロゾルのデータ同化は重要な開発課題である。データ同化により、衛星搭載センサなどにより取得される様々な観測情報を統合し、時空間に連続した信頼性の高いデータセットを得ることが期待される。大気微量気体とエアロゾルの濃度は、化学反応や地表面排出/吸収により複雑に変動するため、それらの解析には高度なデータ同化技術が必要である。一方で、大気輸送のデータ同化には共通の課題も多い。データ同化による解析値は大気汚染を引き起こすプロセスや温室効果気体の濃度変動を理解する上で有用な情報となる。欧米の研究機関を中心として関連研究が活発に進められている状況にあり、日本国内においても、多くの研究者と情報を積極的に交換しながら

ら、これまでに開発された同化システムの課題を克服しデータ利用の促進を図ることが望まれる。本セッションにおいては、対流圏下層から中層大気に及ぶ大気微量成分のデータ同化研究について広く議論することを目的とする。

世話人: 岩崎俊樹 (東北大学), 宮崎和幸 (海洋研究開発機構), 関山 剛 (気象庁気象研究所), 五藤大輔 (東京大学), 中島映至 (東京大学), 弓本桂也 (気象庁気象研究所), 鶴野伊津志 (九州大学), 塩谷雅人 (京都大学)

### インド洋における MJO 研究 — CINDY2011

日時: 大会第1日 (10月3日) 13:30~17:00

場所: B会場

趣旨: 熱帯における代表的な季節内変動であるマッデン・ジュリアン振動の発生過程の解明を目指した国際集中観測 CINDY2011 (Cooperative Indian Ocean experiment on intraseasonal variability in the Year 2011) が2011年10月から2012年1月にかけて15以上の国と地域からの参加を得

て実施された。集中観測にはモルディブなどの島嶼サイトや「みらい」など計4隻の船舶を用いた観測だけでなく、数値モデルによる予測・シミュレーション・再解析と様々な形での参加が実現した。期間中3つのMJO現象を観測し、同海域における大気と海洋の貴重なデータセットを取得した。本セッションでは、CINDY2011における結果速報の他、インド洋から太平洋にかけてのMJOと関連する現象に対して最新の知見を交換することを目的とする。このため集中観測参加者以外からの発表も歓迎する。また集中観測終了から1年でデータが一般に公開される予定であり、さらなる研究発展のため、潜在的なユーザー発掘の一助になることも期待している。

**世話人:** 米山邦夫 (JAMSTEC), 那須野智江 (JAMSTEC), 高薮 縁 (東京大学), 竹見哲也 (京都大学), 増永浩彦 (名古屋大学)

### 惑星大気科学の課題と将来の探査計画

**日時:** 大会第1日 (10月3日) 13:30~17:00

**場所:** C会場

**趣旨:** 2015年頃に観測開始予定の金星気象衛星「あかつき」に引き続き、火星複合探査計画MELOSの検討が進行中である。MELOSは気象観測を主目的とする周回機と着陸技術獲得を主目的とする小型の着陸機で構成される予定である。火星では浮遊ダストの放射効果が大気力学に大きな影響を与えており、火星気象の理解のためにはダストの巻き上げ機構や様々な規模で発生するダストストームの解明が不可欠である。また、地質学的証拠から火星は大きな気候変動を繰り返してきたと考えられており、そのような気候遷移のプロセスや現在の火星がなぜかくも寒冷であるのかを解明することは惑星の気候の多様性を理解する上で重要である。近年の欧米による探査により火星表層に豊富な水が存在することが判明し、火星の水循環も興味を集めている。こうした課題に取り組み、観測事実を整合的に説明しうる火星気象学を構築することは、惑星大気科学に課せられた使命の一つである。本セッションでは、火星をはじめ、惑星大気に関する観測的・理論的研究の現状を整理するとともに、今後実施すべき探査計画について議論する。金星や木星など火星以外の惑星の大気に関する講演も歓迎する。

**世話人:** 今村 剛 (JAXA 宇宙科学研究所), 高木征弘 (京都産業大学理学部)

### 次世代のスパコンが拓く超高精度メソスケール気象予測

**日時:** 大会第1日 (10月3日) 13:30~17:00

**場所:** D会場

**趣旨:** 数値モデルによる気象予測の精度は近年目覚ましく向上しているが、その一方で集中豪雨や局地的大雨など災害につながる顕著現象の予測精度はまだ十分といえない。顕著現象の予測が難しい原因として1) 数値モデルの初期値の精度が現象のスケールに対して十分でない。2) 僅かな初期値や計算条件の違いで結果が大きく変わることがある。3) 現在の数値予測の格子間隔では積乱雲を直接表現できていない。などがある。これらを解決するためには、高精度の初期値を作成して雲を解像する数値モデルで多

数の予測を行う必要があるが、膨大な計算資源を必要とするため、これまで本格的に取り組むことが出来なかった。計算資源に関しては、次世代スパコン「京」の共用開始が2012年夏以降に予定されるなど、研究環境が大きく変わりつつある。ここでは、「京」に代表されるような次世代のスパコンに近い将来利用可能になるであろうことを念頭に、メソスケール顕著現象の高精度予測と高解像度大気モデルを用いた基礎研究について、現時点での到達点と課題について確認したい。HPCI戦略プログラム課題参加者以外からの投稿も歓迎する。

**世話人:** 斉藤和雄 (気象研究所/海洋研究開発機構), 露木 義 (気象研究所), 瀬古 弘 (気象研究所/海洋研究開発機構), 木村富士男 (海洋研究開発機構)

### 気象情報の活用および気象予報士の役割について

**日時:** 大会第2日 (10月4日) 09:15~12:00

**場所:** B会場

**趣旨:** 昨年は、大震災の後にも前線や台風による記録的大雨で大規模な災害が発生し、この冬には記録的な寒波・豪雪となりました。気象技術の進展により、気象情報が質・量ともに急速に充実し、確率情報や各種の画像情報も提供されています。局地的で短時間の極端現象では、生命を守るためには住民が受け身ではなく自ら適切な判断をすることが求められ、防災情報を自ら取得し、現象と情報の内容を理解することが必要です。気象予報士は、気象予測の作成だけではなく、報道等を通じた解説や防災関係者・一般住民を対象とした講演会等、様々な場面で防災知識の普及・啓発に貢献しており、2012年4月1日現在では8422名が気象予報士として登録されています。日本気象予報士会は気象庁と連携し「国民の安全安心に向けた知識の普及啓発活動」の全国展開を推進していますが、昨年に続き、気象情報の作成、伝達、関連知識の普及・訓練に携わる人々の、日ごろの研究成果とともに気象予報士の役割について考えたいと思います。

**世話人:** 與語基宏 (日本気象予報士会), 輪島 淳 (札幌管区気象台), 酒井重典 (日本気象予報士会), 岩田 修 (日本気象予報士会), 金村直俊 (日本気象予報士会北海道支部長), 杉山公利 (日本気象予報士会), 弘中秀治 (宇部市防災危機管理課), 難波良彰 (日本気象予報士会), 白石 晶二 (日本気象予報士会)

### 気象学・気候学における理論的・数理的展開

**日時:** 大会第2日 (10月4日) 09:15~12:00

**場所:** C会場

**趣旨:** 気象学・気候学における研究では、さまざまな理論的なアイデアに思いを巡らせたり、あるいは数理的なアプローチを試みたりする場面がある。本スペシャル・セッションでは、データ解析・数値モデリングといった研究方法を問わず、対象とする現象や領域を問わず、幅広く理論的なアイデアや数理的なアプローチを集めることで、研究を主導する本人だけの思考の楽しみを分かち合い、あるいは研究上立ちはだかる数理の困難をみんなで考えるという、学会の場ではできそうでできないことを試みたい。数理科学者など他分野との連携についても議論したい。なお、すでに学会にて講演済みの内容をベースとした話題提供

でも、日ごろ感じている問題意識を中心とした話題提供でも構いません。

世話人：稲津 将（北海道大学 大学院理学研究院），堀之

内武（北海道大学 大学院地球環境科学研究院），三浦裕亮（東京大学 大気海洋研究所）

## 研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

### 「第38回メソ気象研究会」及び「TOGA-COARE20周年記念研究会」合同研究会

日時：2012年10月2日（火）（大会前日）13:30～17:00

場所：北海道大学学術交流会館 小講堂（大会B会場）

テーマ：「熱帯観測研究・飛躍の20年～TOGA-COAREとその後～」

コンビーナー：城岡竜一・米山邦夫（JAMSTEC）

内容：本年はエルニーニョ現象など気候変動に影響を与える西部熱帯太平洋の大気海洋相互作用の研究を主題とした国際集中観測 TOGA-COARE(1992年11月-1993年2月)の実施から20年を迎える。日本はこの国際観測で主要な役割を果たし研究成果もあげている一方で、TOGA-COAREを直接知らない世代も増えている。ちょうど昨年度はTOGA計画の後を継いだCLIVAR計画が推奨したCINDY2011と呼ばれるMJOをターゲットにした国際集中観測がインド洋で実施された。そこで、この機会にTOGA-COAREとはいったい何だったのか振り返り、その上で、現在の観測研究活動にどう引き継がれ、今後は経験をどう活用していくべきか、フィールド観測の中心となるメソ気象研究の話題などについて紹介し、議論する。

#### プログラム：

講演（仮題）

- 1) 住 明正「TOGA-COARE レビュー」
- 2) 藤吉康志「TOGA-COARE 時、およびそれ以降のメソ気象観測」
- 3) 高萩 縁「TOGA-COARE 観測及びその後—人工衛星観測」
- 4) 上田 博「現在のメソ気象・雲物理研究—パラオ観測ほか」
- 5) 森 修一「インドネシア・海大陸域におけるメソ観測研究」

総合討論

- 1) 話題提供

米山邦夫「CINDY2011 実施を通して見たTOGA-COAREと現在」

世話人：坪木和久（名大地球水循環），加藤輝之（気象研究所予報研究部），小倉義光（東大気海洋研）

連絡先：米山邦夫（JAMSTEC）

E-mail: yoneyamak@jamstec.go.jp

### 第13回統合的陸域圏研究連絡会

日時：2012年10月3日（水）（大会第1日）18:00～20:00

場所：北海道大学学術交流会館 小講堂（大会B会場）

内容：「統合的陸域圏研究連絡会」においては、陸面を中心とする大気境界層から土壌内に渡る陸域圏を主な研究対象とし、以下の目的により活動を行っています。

- \* 陸域圏における物理的、生物生態学的諸過程の理解に向けた、広い視野に立った研究のための情報交換
- \* 陸域圏を対象とした基礎的なメカニズムの理解と、他の圏との広域的・長期的相互作用システムの解明
- \* 直接観測、間接観測、およびモデリングの融合
- \* 空間的・時間的スケール間ギャップの問題の解決
- \* 正確な現状の認識と、実質的に意味のある手法の開発
- \* それらのための研究協力関係の構築

今回は、陸域炭素循環プロセスの中でも重要な課題である森林撓乱の影響、特に森林火災に関する話題を、2名の招待講演者による講演を中心に研究会を開催いたします。

#### 講演者および講演題目（敬称略）：

早坂洋史（北海道大学）

「気候変動下での森林火災について—アラスカ、シベリア、インドネシアなどでの火災動向」

中右浩二（北海道大学）

「人工衛星を用いた森林火災監視システムの開発とその応用」

世話人：馬淵和雄（気象研），大谷義一（森林総研），奈佐原顕郎（筑波大），伊藤昭彦（国環研），佐藤 永（名古屋大学），大石龍太（東京大学），立入 郁（海洋研究開発機構），近藤雅征（福島大学）

代表連絡先：馬淵和雄（気象研）

E-mail: kmabuchi@mri-jma.go.jp

### オゾン研究連絡会

日時：2012年10月3日（水）（大会第1日）セッション終了後2時間程度

場所：学術交流会館 第1会議室（大会C会場）

テーマ：「2012 オゾンシンポジウム参加報告」

内容：2012年8月27日-31日にカナダ・トロントにおいて開催された国際オゾンシンポジウム（Quadrennial Ozone Symposium 2012）に参加された以下の方々より、ご自身の発表内容に加えて、シンポジウムで話題となった研究テーマ等に関して報告をしていただきます。

国際オゾンシンポジウム参加報告

1. 笠井康子（情報通信研究機構）
2. 入江仁士（千葉大学）

代表者の連絡先：村田 功（東北大院環境科学）

murata@pat.gp.tohoku.ac.jp

### 極域・寒冷域研究連絡会

日時：2012年10月3日（水）（大会第1日）セッション終了後2時間程度

場所：北海道大学学術交流会館 講堂（大会A会場）

テーマ：「極域・寒冷域の雲をつかむ」

趣旨：雲は日常生活の中でありふれた存在であるが、長い間多くの研究者が苦勞し続けている対象でもある。数値

モデルで雲を正確に再現できないのは、粒子分布の不均一性や動態の分からない雲核によって、雲粒の大きさや数、降水粒子への成長がコントロールされているためで、その鉛直構造や微物理過程、放射過程などは未解明な部分も多い。更に、雲の消長は気候システムにおいて様々なプロセスと関わりを持つ。例えば、極域・寒冷域における雲は、降雪によるアルベドの変化、雲の放射強制力など、複数の過程を通じて地表面/海面の熱収支に強い影響力を持ち、気候システムの要の一つである。

我々は実際にその雲をどのように観測し理解しようとするのか？これは大変幅広く奥の深い問題である。今回は、極域・寒冷域での雲の観測及び霧の長期解析についての最近の研究成果の紹介をしていただくとともに、

極域・寒冷域の雲に関するこれまでの知見や試みについての話題提供をいただく。雲研究の面白さを感じる機会にしたい。

**話題：**

「釧路の霧の長期変化について」杉本志織（北海道大学・地球環境研）

「近年の海氷減少に伴う北極下層雲の変化」佐藤和敏（弘前大学大学院・理工）

「雲の調べ方」藤吉康志（北海道大学・低温研）

**問い合わせ先：**平沢尚彦（国立極地研究所）

TEL: 042-512-0685

E-mail: hira.n@nipr.ac.jp

---

## 2013 年度春季大会の予告

2013年度春季大会は、2013年5月15日（水）～18日（土）に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木）で開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは2013年2月頃となる予定です。



大会第1日 [ 10月3日(水) ] 9:30~12:30

口頭発表

## A 会場

## 降水システム I

座長：齊藤 貞夫（気象研）

- A101 佐藤 英一（気象研） 2012年5月6日関東地方の環境場及び竜巻を発生させた擾乱の構造について  
 A102 山内 洋（気象研） 2012年5月6日つくば竜巻の二重偏波レーダー解析  
 A103 加藤 輝之（気象研） 2012年5月6日に発生したつくば竜巻の親雲の発生環境場  
 A104 益子 渉（気象研） 2012年5月6日に発生したつくば竜巻の数値シミュレーション  
 A105 小林 文明（防大地球） 2012年5月6日北関東に竜巻をもたらした積乱雲の落雷特性  
 A106 泉 岳樹（首都大都市環境） 気象災害におけるヘリコプター型 UAV の利活用に関する実証的研究  
 ーつくば市北条地区での竜巻被害を対象としてー  
 A107 楠 研一（気象研） 多点型地上観測システムによる下層渦の地上直接観測-2012年冬季-  
 A108 新井 健一郎（JR 東日本防災研） 2011年12月22日の庄内空港突風事例における渦の構造  
 A109 加藤 亮平（アルファ電子/気象研） 庄内平野で観測された下層渦の上陸時の変質  
 A110 本田 匠（九大院・理） 下層の熱力学境界とスーパーセルストーム発達との関係

座長：加藤 亮平（アルファ電子/気象研）

- A111 荒木 健太郎（気象研） 50m-NHM で再現された2011年4月25日千葉県の複数の竜巻の発達過程  
 A112 藤原 忠誠（気象研） Ku バンドレーダー・地上気象観測網で捉えた Misocyclone の立体構造  
 A113 楠 研一（気象研） 収束ライン出現状況と積乱雲発生・発達との関係-2011年夏季の予備調査-  
 A114 齊藤 貞夫（気象研） 孤立積乱雲発達時における地上降水の高密度観測  
 A115 齊藤 靖博（JAXA） ロケット打上げ時の雷制約適正化に向けた研究状況  
 A116 齊藤 俊哉（JAXA） 種子島宇宙センターX バンド2重偏波ドップラーレーダーにおける粒子判定機能  
 のパラメータチューニング  
 A117 廣川 康隆（気象庁予報） 日本列島付近で急速に発達する低気圧に関する統計調査（その1）  
 A118 加藤 輝之（気象研） 2012年4月3日に日本海上で急発達した低気圧の発達要因と構造変化  
 A119 荒木 健太郎（気象研） MRI 雲生成チャンバーを用いた多次元ビン法雲微物理モデルにおける拡散  
 成長過程の検証

大会第1日〔10月3日(水)〕 9:30~12:30

口頭発表

## B 会場

## 観測手法

座長：西澤 智明（環境研）

- B101 上條 賢一（東洋大） 多次元気象変動空間における局所的フラクタル次元の観測手法とその応用  
 B102 小池 仁治（気象庁観測） 周辺樹木が気温観測に及ぼす影響の屋外測定による評価  
 B103 今井 弘二（とめ研） A possible bias of ozonesonde measurements owing to the response time problem  
 B104 長澤 親生（首都大システムデザイン） 1.6 $\mu$ m 差分吸収ライダーによる CO<sub>2</sub> 濃度の鉛直・水平分布の観測  
 B105 石井 昌憲（NICT） 地表面散乱を利用したコヒーレントライダーによる CO<sub>2</sub> 計測  
 B106 石井 昌憲（NICT） NICT における 2 $\mu$ m コヒーレント差分吸収・風ライダーによる風観測の現状  
 B107 西澤 智明（環境研） NIES ネットワークライダーへの Raman 散乱測定チャンネルの付加  
 B108 酒井 哲（気象研） ラマンライダーによる雲水量観測  
 B109 大野 裕一（NICT） アースケア衛星搭載雲レーダ用ドップラ処理アルゴリズムの課題

座長：梶原 佑介（気象庁）

- B110 梶原 佑介（気象庁観測/気象研） 東北地方における新型ウィンドプロファイラの整備・運用開始について  
 B111 梶原 佑介（気象庁観測/気象研） 晴天乱気流検出に必要なウィンドプロファイラの感度の考察  
 B112 山本 真之（京大生存研） 1.3GHz 帯レンジイメージングウィンドプロファイラーの開発  
 B113 真木 雅之（防災科研） 気象レーダによる火山噴火監視の可能性 - 2011年1月~3月の霧島新燃岳の噴火事例の解析結果 -  
 B114 西川 将典（名大地球水循環） 長岡における2台のKa帯レーダを用いた対向観測実験  
 B115 民田 晴也（名大地球水循環） 低コスト降水粒子観測プローブの開発（その2）  
 B116 水谷 文彦（東芝） フェーズドアレイ気象レーダの開発  
 B117 牛尾 知雄（阪大院工） フェーズドアレイ気象レーダの初期観測結果  
 B118 佐藤 晋介（NICT） フェーズドアレイ気象レーダのデータ利用のためのクラウドの活用

大会第1日 [ 10月3日(水) ] 9:30~12:30

口頭発表

## C 会場

## 中高緯度大気・相互作用

座長：猪上 淳 (JAMSTEC)

- C101 平沢 尚彦 (極地研) 南極ドームふじ基地の極夜期の接地気温逆転層の強度の日々の変化とその要因
- C102 緒方 香都 (三重大院生物資源) 大気大循環モデルを用いた南極周辺の海氷が大気循環に与える影響
- C103 広瀬 民志 (京大院理) 中緯度海上の高・低気圧周りにみられる特徴的な逆転層強度の分布
- C104 小川 史明 (東大先端研) 中緯度環状モード変動における中緯度海洋前線帯の潜在的な重要性
- C105 猪上 淳 (地球環境変動領域) 北極海上の高層気象データは中高緯度の大気循環の再現性向上に役立つか?
- C106 佐藤 和敏 (弘前大院理工) 海氷減少に伴う北極下層雲の変化
- C107 早坂 洋史 (北大工院) アラスカでの雷発生と水蒸気の流入について
- C108 向川 均 (京大防災研) 成層圏惑星規模波の下方伝播が北太平洋ブロッキングの形成に及ぼす影響

座長：早崎 将光 (九大)

- C109 堀 正岳 (JAMSTEC/RIGC) 東アジアに襲来した寒波の源とユーラシア大陸上における気団変質の解析：2009-2011年の事例から
- C110 藤田 啓 (三重大院生物資源) 夏季ブッソル海況上で観測された気温鉛直断面と数値モデルでの再現性
- C111 安藤 雄太 (三重大院生物資源) 直接観測による黒潮上の乱流フラックス
- C112 美山 透 (JAMSTEC/RIGC) ニューギニア沿岸湧昇と高山山脈に着目した領域気候モデル研究
- C113 加藤 雅也 (名大地球水循環) CRESS-NHOES を用いた日本周辺を対象とした日々の大気海洋結合実験
- C114 早崎 将光 (九大院理) 高解像度大気海洋結合モデルで再現された南岸低気圧・日本海低気圧

大会第1日〔10月3日(水)〕 9:30~12:30

口頭発表

## D 会場

## 気候システム I

座長：水田 亮（気象研）

- D101 尾瀬 智昭（気象研） CMIP5 モデルによる 21 世紀末降水量変化と海面水温変化
- D102 遠藤 洋和（気象研） CMIP5 マルチ気候モデルによるモンスーン降水の再現性と将来変化
- D103 楠 昌司（気象研） CMIP5 モデルによる梅雨の再現性
- D104 廣田 渚郎（東大気海洋研） CMIP5 気候モデルによる高緯度陸上降水の再現性
- D105 大鹿 美希（三重大院生物資源） 冬季 NAO 変動と 1 年後の冬季の ENSO と WP との関係性
- D106 中村 哲（極地研） CMIP3 マルチモデルアンサンブルで再現された NAO と ENSO/WP の関係性および、ユーラシア大陸の積雪偏差がモデルの再現性に与える影響
- D107 水田 亮（気象研） CMIP5 マルチモデルにおける温暖化時の冬季の強い低気圧の増加
- D108 鬼頭 昭雄（気象研） CMIP3/CMIP5 モデルの月平均地上気温年々変動標準偏差の再現性
- D109 Lainé Alexandre（東大先端研） Analysis of evaporation changes simulated by IPCC-AR4 models under the A1B scenario

座長：鈴木パーカー 明日香（筑波大）

- D110 久野 龍介（北大院理） サンプリング=ダウンスケーリングの開発（II）再解析データへの適用
- D111 伍井 稔（いであ） 北海道オホーツク海沿岸に高波浪をもたらす暴風に対する気候モデルの再現性及び将来気候での変化
- D112 村田 昭彦（気象研） AGCM にネストした NHRCM による日最低気温の将来変化
- D113 馬場 雄也（JAMSTEC/ESC） MSSG one/two-moment スキームを用いた関東域領域気候モデルの構築
- D114 栗原 和夫（慶應大・気象研） 5 km メッシュ非静力学地域気候モデルによる地域気候の再現性の検討（宮城県栗原市周辺域を対象として）
- D115 横畠 徳太（環境研） 気候モデルアンサンブルの自由度と信頼性評価
- D116 鈴木パーカー 明日香（筑波大計算科学） マルチモデル力学的ダウンスケールを用いた温暖化時の日本の地上気温変化とその不確実性
- D117 加藤 内蔵進（岡大・教育・理科） 冬から春への季節経過の中で見た曇天日持続イベントの特徴について

# 大会第1日 [ 10月3日(水) ] 13:30~17:00 口頭発表

## A 会場

### スペシャル・セッション「大気微量気体およびエアロゾルの同化とその気候研究への利用」

座長：宮崎 和幸 (JAMSTEC)

- A151 岩崎 俊樹 (東北大院理) 大気微量成分のデータ同化システムの開発  
 A152 中島 映至 (東大大気海洋研) アジア域の大気環境物質のデータ同化について

座長：宮崎 和幸 (JAMSTEC)

- A153 笠井 康子 (NICT) 国際宇宙ステーションからの大気環境観測ミッション APOLLO 提案  
 A154 板橋 秀一 (九大院総理工) 化学物質輸送モデルの東アジア域光化学オゾンの夏季過大評価に対する考察 —感度解析手法 HDDM と Green 関数最適法をもとに—  
 A155 宮崎 和幸 (JAMSTEC/RIGC) 衛星観測データの同化による対流圏化学場の統合解析

座長：関山 剛 (気象研)

- A156 中村 哲 (極地研) 衛星観測データを用いた成層圏オゾン同化システムのマルチモデル相互比較  
 A157 出牛 真 (気象研) 成層圏オゾンのデータ同化とハインドキャスト実験  
 A158 塩谷 雅人 (京大生存研) SMILES による中層大気微量成分の高感度観測とナッジング化学輸送モデル結果との比較  
 A159 榎本 剛 (京大防災研) 2次元移流モデルの混合特性

座長：弓本 桂也 (気象研)

- A160 五藤 大輔 (環境研) SALSA プロジェクトにおける夏季関東領域での大気微量物質シミュレーション  
 A161 打田 純也 (東大大気海洋研) ダイヤモンド格子システムを適用したNICAM領域モデルによる大気汚染物質予測  
 A162 ダイ ティエ (東大大気海洋研) Applying a Local Ensemble Transform Kalman Filter Assimilation System to the NICAM-SPRINTARS model  
 A163 関山 剛 (気象研) アンサンブル・カルマン・フィルタによるCALIPSOエアロゾル観測のデータ同化  
 A164 Chen Ying-Wen (九大応力研) データ同化手法を用いたエアロゾルの予測精度向上の可能性について  
 A165 弓本 桂也 (気象研) SPRINTARS/4DVAR 同化システムを用いた黄砂の排出量推定

座長：五藤 大輔 (環境研)

- A166 Patra Prabir (JAMSTEC/RIGC) Carbon balance, atmospheric CO<sub>2</sub> variability and meridional CO<sub>2</sub> flux distribution using forward and inverse models  
 A167 眞木 貴史 (気象研) 複数の衛星観測データを用いた炭素循環解析  
 A168 高木 宏志 (環境研) GOSAT X<sub>CO2</sub> データプロダクト間の相違が二酸化炭素地表面収支推定値に及ぼす影響  
 A169 今須 良一 (東大大気海洋研) 関東域からの二酸化炭素放出量推定のためのGOSATによる集中観測  
 A170 林田 佐智子 (奈良女子大) 衛星観測データから得られた東南アジアのメタン変動 バイオマスバーニングの影響検知について

大会第1日〔10月3日(水)〕 13:30~17:00

口頭発表

## B 会場

## スペシャル・セッション「インド洋における MJO 研究 -CINDY2011」

座長：米山 邦夫 (JAMSTEC)

- B151 米山 邦夫 (JAMSTEC) CINDY2011 における高精度サウンディングデータセットの作成
- B152 茂木 耕作 (RIGC) CINDY 期間中の解析誤差分布の特徴
- B153 勝俣 昌己 (JAMSTEC) MJO 対流活発期末期におけるメソ対流系：CINDY における事例解析
- B154 森 修一 (JAMSTEC) インドネシア・スマトラ沿岸豪雨帯の形成過程について-HARIMAU2011 集中観測結果概要 (第2報) -
- B155 清木 亜矢子 (JAMSTEC) CINDY2011 期間中に観測された急激な SST 冷却とロスビー波との関係
- B156 横井 覚 (JAMSTEC/RIGC) CINDY 期間中に見られた海面フラックス変動
- B157 篠田 太郎 (名大地球水循環) CINDY2011 観測期間における 3 次元大気海洋結合領域モデル CReSS-NHOES を用いた毎日のシミュレーション実験
- B158 那須野 智江 (JAMSTEC/RIGC) CINDY2011 における領域集中版 NICAM を用いた準リアルタイム予報計算
- B159 三浦 裕亮 (東大・院理) 全球雲解像モデル NICAM による CINDY 観測期間中に発生した MJO 現象の再現実験

座長：高藪 縁 (東大大気海洋研)

- B160 竹見 哲也 (京大防災研) CINDY2011 での水蒸気変動と積雲活動との関連性に関する高分解能数値実験
- B161 千喜良 稔 (JAMSTEC/RIGC) Chikira-Sugiyama 積雲対流スキームで表現された MJO : Weak Temperature Gradient のもとでの水蒸気変動の解析
- B162 安永 数明 (JAMSTEC) MJO 内部で卓越する総観規模スケールの渦擾乱
- B163 高橋 千陽 (JAMSTEC) 冬季インド洋における波動性擾乱の特徴と季節内振動との関係
- B164 坪井 彩 (京大防災研) インド洋の熱帯低気圧の発生に及ぼす MJO の影響の統計解析と CINDY2011 期間中の特徴
- B165 久保田 尚之 (JAMSTEC) CINDY2011 観測期間中にインド洋での MJO 発生に寄与した熱帯低気圧
- B166 小寺 邦彦 (名大・STE) 2011 年 11-12 月に発生した熱帯成層圏昇温に伴う対流活動の急変
- B167 西本 絵梨子 (京大生存研) 季節内周期振動の積雲伝播特性にもとづく分類と熱帯対流圏界面温度との関係
- B168 鈴木 順子 (JAMSTEC/RIGC) 熱帯インド洋の対流圏界面遷移層にみられた短周期擾乱による巻雲変動

大会第1日〔10月3日(水)〕 13:30~17:00

口頭発表

## C 会場

## スペシャル・セッション「惑星大気科学の課題と将来の探査計画」

座長：高木 征弘（京都産業大）

- C151 小郷原 一智 (宇宙研) 火星における風送ダスト研究の意義と火星気象学  
 C152 今村 剛 (宇宙研) 火星気象オービター構想  
 C153 中串 孝志 (和歌山大観光) 複眼偏光撮像カメラ SIMPLER  
 C154 寺田 直樹 (東北大院理) 火星大気散逸探査 (のぞみ後継探査)  
 C155 高橋 芳幸 (神戸大院理) 火星大気探査を見据えた火星大気大循環モデルの構築に向けて  
 C156 西澤 誠也 (理研計算科学) 火星境界層乱流の LES 実験  
 C157 乙部 直人 (福岡大理) 火星表面の気象観測測器の検討  
 C158 小郷原 一智 (宇宙研) アンサンブルシミュレーションによる火星ダストヘイズの拡大地域の特定  
 C159 笠井 康子 (NICT) 火星サブミリ波サウンダ FIRE - ダスト科学・水循環・微量物質循環へのアプローチ

座長：今村 剛（宇宙研）

- C160 石渡 正樹 (北大・理) 惑星大気大循環モデル dcpam を用いた金星設定における放射強制変更実験  
 C161 山本 博基 (宇宙研) ギーラシメカニズムに基づく惑星大気スーパーローテーション ~解のレジームダイアグラム~  
 C162 山本 勝 (九大応力研) 金星惑星スケール波動の臨界高度形成・消滅と超回転強度遷移について  
 C163 杉本 憲彦 (慶大日吉物理) AFES を用いた金星大気の傾圧不安定に関する研究  
 C164 今村 剛 (宇宙研) 金星気象衛星「あかつき」の新たな挑戦  
 C165 福原 哲哉 (北大理) 10 $\mu$ m 帯熱赤外カメラの惑星探査への適用  
 C166 今井 正堯 (北大理) ピリカ望遠鏡による金星雲の循環周期観測  
 C167 濱本 昂 (北大院理) 土星大気の見近赤外におけるスペクトル撮像観測  
 C168 佐々木 洋平 (京大数学) 薄い回転球殻対流により引き起こされる表層の帯状流

大会第1日〔10月3日(水)〕 13:30~17:00 口頭発表

D 会場

スペシャル・セッション「次世代スパコンが拓く超高精度メソスケール気象予測」

趣旨説明

斉藤 和雄 (気象研)

座長：露木 義 (気象研)

- D151 斉藤 和雄 (気象研) HPCI 戦略プログラム「超高精度メソスケール気象予測の実証」  
 D152 清水 慎吾 (防災科研) 高時間分解能セクターキャン観測データを用いた熱力学リトリバル法で推定した温位偏差場の同化インパクト - 2011年8月3日の事例解析 -  
 D153 川畑 拓矢 (気象研) 2012年5月6日に発生したつくば竜巻に関するデータ同化実験  
 D154 青梨 和正 (気象研) 雲解像モデルアンサンブル予報誤差解析に基づくサンプリング誤差抑制法(その2)  
 D155 折口 征二 (気象研) マイクロ波放射計の輝度温度による位置ずれ補正と EnVA 実験

座長：瀬古 弘 (気象研)

- D156 国井 勝 (気象研) 双方向ネスト用いた LETKF 実験システムの構築  
 D157 瀬古 弘 (気象研) LETKF ネストシステムを用いた同化実験  
 D158 黒田 徹 (JAMSTEC) 2011年7月梅雨期の LETKF 解析  
 D159 デュク レ (JAMSTEC) NHM-LETKF modifications in application for tropical cyclones  
 D160 陳 桂興 (東北大院理) A challenge to realize ultra-high-resolution weather prediction for big cities: system construction and experiments over Sendai area

座長：木村 富士男 (JAMSTEC)

- D161 中村 晃三 (JAMSTEC/RIGC) ビン法雲物理モデルを使った暖かい雨のバルク法モデルの改良 (その3: ビンモデルの結果によるバルクモデルの考察)  
 D162 橋本 明弘 (気象研) 多次元ビン法微物理モデルを利用したバルク法微物理モデルの開発・改良  
 D163 野田 暁 (JAMSTEC) 全球非静力学モデル NICAM を基にした領域乱流解像モデルの開発  
 D164 伊藤 純至 (東大大気海洋研) 大規模ラージ・エディ・シミュレーションによる境界層モデルの検討  
 D165 八代 尚 (理研計算科学) 広領域・大規模計算のための LES 気象モデルの開発  
 D166 佐藤 陽祐 (理研計算科学) SCALE-LES を用いた下層雲の数値実験  
 D167 宮本 佳明 (理研計算機構) 加熱面上境界層の乱流場に対する格子形状の影響  
 D168 竹見 哲也 (京大防災研) 熱帯低気圧の発達過程に及ぼす乱流粘性の影響について



大会第2日 [ 10月4日(木) ] 9:15~12:00

口頭発表

## A 会場

### 雲物理

座長：小西 啓之（大阪教育大）

- A201 菊地 勝弘（北大名誉教授） 中谷宇吉郎は何故雪の研究を始めたか
- A202 尾上 万里子（名大地球水循環） 雲粒子ゾンデ HYVIS を用いた梅雨期沖縄域における氷晶粒子観測
- A203 石坂 雅昭（雪氷防災研究センター） 「フラックス中心」を用いた降雪粒子データベースによる降雪特性の把握
- A204 中井 専人（防災科研・雪氷） 地上気温 0℃近傍時の降雪プロファイル：2012年1月9日の事例
- A205 村上 正隆（気象研） エアロゾル粒径分布および雲核活性化スペクトルの気団特性
- A206 山下 克也（気象研） つくばにおける CCN・IN・エアロゾル濃度の地上モニタリング観測
- A207 田尻 拓也（気象研） 広範なエアロゾル種の雲核・氷晶核能に関する研究（その2）
- A208 前島 康光（気象研） 小河内貯水池の集水域を対象とした暖候期の降水シミュレーション

座長：石坂 雅昭（防災科研）

- A209 小池 克征（いであ） 非静力学モデルデータを用いた多摩川上流域に出現する降水雲の水収支に関する研究
- A210 真木 太一（筑波大） 三宅島・御蔵島上空での液体炭酸航空機散布法による人工降雨の成功
- A211 高橋 庸哉（北教大） 樹枝状雪結晶の成長に与える気温及び雲粒の効果—鉛直過冷却雲風洞実験—
- A212 小西 啓之（大阪教育大） ダイヤモンドダストなどの微小粒子からなる降雪の強度測定
- A213 平沢 尚彦（極地研） 北海道陸別町と新潟県長岡市の降雪の特徴の比較
- A214 石原 正仁（京大極端気象ユニット） 首都圏における気団雷の発生状況
- A215 Keun-ok Lee（名大地球水循環） Microphysical structure of convective region of a precipitation system passing around Mt. Halla, Jeju Island, Korea on 6 July 2007

大会第2日〔10月4日(木)〕 9:15~12:00

口頭発表

## B 会場

## スペシャル・セッション「気象情報の活用および気象予報士の役割について」

座長： 與語 基宏（日本気象予報士会）

- B201 宮澤 佳幸（気象予報士会） 三登山の逆さ霧と風下のロール雲について
- B202 大鐘 卓哉（小樽市博） 北海道における上位層気楼の発生情報のまとめ
- B203 大鐘 卓哉（小樽市博） 大気光学現象と誤認識される太陽が複数個見える現象
- B204 中山 秀晃（気象予報士会） WebGIS を活用した降雪情報の開発
- B205 富山 芳幸（WEED） From Deterministic to Probabilistic: A Hypothetical Model of the Relation between Decision Making and Probabilistic Forecasts
- B206 平松 章男（北陸先端大院知識） 意思決定者のリスク選好態度を考慮した確率予測資料の活用について
- B207 龍山 康朗（RKB 毎日放送） 伝わる気象情報とは・・・気象予報士の役割
- B208 白石 晶二（予報士会） 気象予報のあり方に関する基礎的研究(その2)
- B209 道本 光一郎（防衛大） 気象情報の提供や天気予報の方法に関する一考察（続報）
- B210 金森 史郎（気象予報士会） 防災知識の普及に向けた気象庁と（一社）日本気象予報士会の取組み
- B211 平松 信昭（気象予報士会） 気象予報士 CPD 制度の創設

## 総合討論「気象情報活用の課題と気象予報士の役割および気象予報士 CPD 制度創設について」

大会第2日〔10月4日(木)〕 9:15~12:00

口頭発表

## C 会場

### スペシャル・セッション「気象学・気候学における理論的・数理的展開」

座長：三浦 裕亮（東大大気海洋研）

- C201 渡部 雅浩（東大大気海洋研） 気候・気象のモデリング：決定論的？確率論的？
- C202 塩竈 秀夫（環境研） フラックス調節無しでドリフトしない大気海洋結合モデル物理アンサンブル実験のデザイン
- C203 筒井 純一（電中研） 大気海洋結合大循環モデルを模擬する簡易気候モデルのパラメータ推定
- C204 宮本 佳明（理研計算機構） 大気海洋相互作用を加味した熱帯低気圧の最大発達強度理論：海洋混合度合を表す無次元パラメータに関する考察
- C205 宮川 知己（東大大気海洋研） 全球非静力モデルNICAMの再現したマッデン＝ジュリアン振動の対流活発域における運動量収支解析
- C206 小玉 知央（JAMSTEC/RIGC） 正二十面体格子におけるノードマッピング手法の開発と評価

座長：堀之内 武（北大）

- C207 黒田 友二（気象研） 多変数場間に対しての最大共分散法
- C208 山崎 哲（地球シミュレータ） 持続的なブロッキングと移動性擾乱との相互作用メカニズム
- C209 田中 博（筑波大計算科学） 一般化した全球3次元基本場における線形不安定問題の解析
- C210 野田 彰（JAMSTEC/RIGC） 非 traditional approximation に係わるスケーリング
- C211 門倉 真二（電中研） 統計的ダウンスケーリングによる確率密度推定
- C212 稲津 将（北大院理） 低次元系確率微分方程式による中高緯度冬季の長周期変動の力学と予測可能性

大会第2日 [ 10月4日(木) ] 9:15~12:00

口頭発表

## D 会場

## 中層大気

座長：木下 武也（東大）

- D201 佐野 琢己 (宇宙研) SMILES オゾン観測データの他衛星データによる検証について
- D202 鈴木 睦 (宇宙研) 2009/2010年北極域において SMILES により観測された CIO について
- D203 山下 陽介 (環境研) 海表面温度分布が南極渦に及ぼす影響
- D204 柴田 清孝 (気象研) 温暖化とオゾン回復の将来予測における成層圏突然昇温のトレンド：2100年までの化学-気候モデルシミュレーション
- D205 内藤 陽子 (京大院理) QBO と SAO の位相による子午面循環と大気微量成分分布の変動
- D206 河谷 芳雄 (JAMSTEC) 種々のデータに現れた赤道準2年振動の変化
- D207 田口 正和 (愛知教育大) 赤道成層圏準二年周期振動の季節同期に関する診断解析：JRA/JCDAS 再解析データ・MRI CCM データの結果
- D208 飯田 千尋 (九大院理) 成層圏突然昇温前後の中間圏力学場の変動
- D209 木下 武也 (東大院理) 赤道波に伴う3次元残差流と波活動度フラックス
- D210 佐藤 薫 (東大院理) 成層圏ブリュワ・ドブソン循環の3次元構造と駆動メカニズム
- D211 岡本 功太 (東大院理) 成層圏残差循環における重力波の重要性 -再解析データ比較プロジェクト (S-RIP) -
- D212 土屋 主税 (東大院理) 重力波励起起源としての前線のトレンド

大会第3日 [ 10月5日(金) ] 9:15~11:30

口頭発表

## A 会場

## 降水システムⅡ

座長：清水 慎吾（防災科研）

- A301 川島 正行（北大低温研） FASTEX 期間中に観測された冬季海洋上の寒冷前線の数値実験
- A302 渡邊 俊一（東大大気海洋研） 2010年12月30日に日本海西部で発生した渦状擾乱の数値実験（その2）—感度実験—
- A303 道本 光一郎（防衛大） 小松空港周辺の冬季航空機被雷について
- A304 下地 伸明（琉球大工） 雷画像撮影のための光学システムの構築
- A305 二宮 洸三（無所属） 台風（1965年24号）周辺流による日本列島南岸の水蒸気前線の強化
- A306 栃本 英伍（九大院・理） 梅雨前線帯の低気圧の発達過程 —平均的な環境場を用いた数値実験—

座長：鈴木 真一（防災科研）

- A307 斉藤 和雄（気象研） 2011年8月26日首都圏豪雨のアンサンブル実験
- A308 草川 敬之（京大防災研） 濃尾平野に降水をもたらす大気場の特性
- A309 鈴木 真一（防災科研） 2分間隔のボリュームスキャンでみた発達した積乱雲の時間発展
- A310 清水 慎吾（防災科研） Kaバンドレーダを用いた積乱雲の早期検出・同化手法の開発
- A311 清野 直子（気象研） 首都圏の夏季降水に対する都市の効果—NHMによる感度実験—
- A312 草薙 浩（ウェザー研究会） 日降水量グラフを用いた日本列島の降水特性の主成分分析
- A313 草薙 浩（ウェザー研究会） 日降水量グラフから見た日本列島の梅雨と秋雨

大会第3日〔10月5日(金)〕 9:15~11:30

口頭発表

## B 会場

## 熱帯大気

座長：服部 美紀 (JAMSTEC)

- B301 パンワー ヴィヴェック (京大生存研) A study on water vapors in the tropical tropopause region using EOS - AURA MLS satellite
- B302 マルズキ (京大生存研) Raindrop Size Distribution Measurements Along Equatorial Indonesian Maritime Continent
- B303 アクター ファティマ (京大防災研) Pre-monsoon Local Severe Storms of Bangladesh and adjoining India
- B304 牛山 朋来 (土木研究所 ICHARM) 2010年パキスタン洪水をもたらした豪雨のダウンスケーリング再現実験
- B305 レニ スリストヨワティ (神戸大院理) Effect of Diurnal Rainfall Migration to Short-Term Flood over JABODETABEK Area: Observation and Simulation
- B306 上米良 秀行 (JAMSTEC/RIGC) 複数観測手段によるスマトラ島中部西岸域海陸上の降雨日周期変動
- B307 服部 美紀 (JAMSTEC) HARIMAU2011 集中観測における NHM 予報実験の検証
- B308 林 未知也 (九大院理) ストレッチングによる渦対がもたらす熱帯不安定擾乱の東進性
- B309 吉崎 正憲 (JAMSTEC/RIGC) NICAM で発現した MJO に関する解析
- B310 吉崎 正憲 (JAMSTEC/RIGC) 熱帯大規模降水系の伝播特性に地球の自転がおよぼす影響
- B311 西垣 語人 (日本橋学館大リベラルアーツ) 擾乱内相関で見た「相」転移の導入による統計力学の気象学への応用

大会第3日 [ 10月5日(金) ] 9:15~11:30

口頭発表

## C 会場

## 大気放射

座長：竹中 栄晶（東大大気海洋研）

- C301 大竹 秀明（産総研） 発電量予測で利用される気象庁メソモデルの日射量予測誤差マッピング  
 C302 中島 英彰（環境研） 太陽紫外線によるビタミンD生成に必要な照射時間に関する指標の作成  
 C303 山田 恭平（東北大院理） 館野における地表面下向き長波放射の長期変動に対する寄与の見積もり  
 C304 片桐 秀一郎（東北大院理） 福江島地上観測サイトで得られた放射データと衛星データを用いた雲・エアロゾルの放射影響に関する研究  
 C305 東 良美（奈良女子大院人間文化） AERONET DRAGON 観測期間における大気下層エアロゾルの特徴  
 C306 朽木 勝幸（気象研） 積雪不純物濃度の推定に及ぼす不純物混合状態の効果  
 C307 竹中 栄晶（AORI） エアロゾルの間接効果に関する観測可能性

座長：萩原 雄一郎（九大）

- C308 江口 菜穂（九大応力研） 下層雲の海陸別雲物理量特性：2003年ヤマセ雲の事例解析  
 C309 久慈 誠（奈良女子大） 受動型衛星観測データ解析による雲層高度の推定とその検証  
 C310 萩原 雄一郎（九大応力研） CloudSat/CALIPSO 複合利用による高度別全球雲分布の年々変動  
 C311 岡本 創（九大応力研） アクティブセンサ搭載衛星の複数年のデータ解析に基づく雲微物理特性の検証法の提案  
 C312 Husi Letu (TRIC) Optimizing the ice crystals scattering database for GCOM-C/SGLI satellite mission (II)  
 C313 眞子 直弘 (CEReS) SMILES/L2 データ処理における分子吸収線形状の検討  
 C314 内山 明博 (気象研) スカイラジオメーターの 940nm チャンネルによる水蒸気量の推定

大会第3日〔10月5日(金)〕 9:15~11:30

口頭発表

## D 会場

## 大気力学

座長：黒川 宏之（東工大）

- D301 伊賀 啓太（東大大気海洋研）円筒容器内で回転する円盤の上の軸対称流  
 D302 齋藤 泉（京大院理）2次元 $\beta$ 平面乱流の擬似保存量の一般化  
 D303 黒川 宏之（東工大院理工）自転軸傾斜が大気循環に与える影響：ハドレー循環からスーパーローテーションへの遷移について

## 気候システムⅡ

座長：塩竈 秀夫（環境研）

- D304 大富 裕里子（三重大院生物資源）2010年猛暑をもたらした北極振動の極性反転に対する大西洋SSTの役割  
 D305 黒田 友二（気象研）北大西洋振動に果たす各波動の役割  
 D306 耿 驃（JAMSTEC）西部北太平洋における夏のモンスーンオンセットに伴う大気混合層の変動  
 D307 伍 培明（JAMSTEC/RIGC）インドシナ半島東岸での豪雨とMJO、ENSOとの関連  
 D308 塩竈 秀夫（環境研）モデル民主主義を越えて：観測による不確実性制約は、地球温暖化に伴うアマゾン川流域の乾燥化を示唆する  
 D309 長門 祐太（筑波大院生命環境）北極温暖化増幅と北極振動の関係  
 D310 小木 雅世（JAMSTEC/RIGC）北極海の高氷面積と夏の大気循環の関係 - 2010年・2011年の事例解析 -  
 D311 松村 伸治（北大院地球環境）シベリアの土壌凍結-融解過程による気候メモリ  
 D312 大石 龍太（東大大気海洋研）温暖環境における植生変化が極域増幅に及ぼす影響  
 D313 青木 輝夫（気象研）「北極域における積雪汚染及び雪氷微生物が急激な温暖化に及ぼす影響評価に関する研究」（SIGMAプロジェクト）の紹介  
 D314 本田 明治（新潟大自然）近年の日本各地に大雪をもたらす大気循環場の特徴



大会第3日〔10月5日(金)〕 13:30~17:00

口頭発表

## A 会場

## 物質循環

座長：石島 健太郎 (JAMSTEC)

- A351 青木 周司 (東北大院理) 白鳳丸による東部太平洋赤道上での大気微量成分の総合観測
- A352 稲飯 洋一 (東北大) 白鳳丸熱帯東部太平洋気球観測による TTL 上端大気の age 推定
- A353 石戸谷 重之 (産総研) 気球搭載型小型 J-T サンプラーを用いた成層圏大気主成分重力分離の観測
- A354 秋吉 英治 (環境研) フロン規制がない場合のオゾン層の消失過程と大気の変動
- A355 田上 雅浩 (熊本大院自然科学) 降水の安定同位体比を用いた水蒸気滞留時間の推定法
- A356 石島 健太郎 (JAMSTEC/RIGC) マルチエミッション計算を用いた  $N_2O$  フラックス先験値の最適化
- A357 佐々井 崇博 (名大院環境) 陸域生物圏モデルと衛星データを組み合わせた全球 1km メッシュの陸域炭素収支解析
- A358 近藤 雅征 (福大理工) GOSATL4A プロダクトを利用した全球生態系呼吸量の算出
- A359 菊地 信弘 (環境研) クロロフィル蛍光を考慮した GOSAT SWIR 温室効果ガス濃度導出アルゴリズム
- A360 入江 仁士 (千葉大 CEReS) SCIAMACHY, OMI, GOME-2 の対流圏  $NO_2$  カラム濃度を複合利用した CMAQ モデルの評価

座長：須藤 健悟 (名大)

- A361 及川 栄治 (東大大気海洋研) CALIPSO 衛星データを用いたエアロゾル直接効果に関する研究 その2
- A362 青木 一真 (富山大理) DRAGON Japan 2012 観測期間中のエアロゾルの光学的特性
- A363 小林 拓 (山梨大院医工) 偏光を利用した光散乱式気中粒子計測器による 2012 年春季の観測結果
- A364 鶴田 治雄 (東大大気海洋研) ピマイ(タイ)の大気エアロゾルの化学組成と光学特性(第4報)  
--乾期と雨期における土壌系粒子の輸送過程と発生源推定--
- A365 兼保 直樹 (産総研) 福島事故後の大気中放射性核種の粒径と輸送担体に関する直接観測および公開データからの推定
- A366 古賀 聖治 (産総研) 硫化ジメチルからの酸化生成物による新粒子生成
- A367 中村 麻耶 (奈良女子大院人間文化) 船舶観測によるエアロゾルの経年変動に関する研究
- A368 張 代洲 (熊本県立大学環境共生) 大気エアロゾルの濃度—バクテリア：2010-2012 熊本の観測事例
- A369 須藤 健悟 (名大院環境) 化学・エアロゾル気候モデルによる硫酸塩・ダスト粒子の結合シミュレーション
- A370 眞木 貴史 (気象研) 逆解析を用いた 2008, 2009 年における黄砂放出量解析

## B 会場

## 台風

座長：山口 宗彦（気象研）

- B351 山口 宗彦（気象研） 南北方向に傾いた台風渦の移動  
 B352 沢田 雅洋（東北大院理） 非軸対称な熱源が台風進路へ及ぼす影響について  
 B353 豊嶋 紘一（名大院環境） 熱帯低気圧の降水非軸対称性に関する衛星データを用いた研究  
 B354 筆保 弘徳（横浜国大） NICAM で再現された台風ライフサイクルの PVS 収支解析  
 B355 大内 和良（JAMSTEC） 温暖化に伴う中部太平洋の熱帯低気圧の活動変化に対するマッデン・ジュリアン振動の寄与  
 B356 金田 幸恵（気象研） 水平解像度 2km の非静力学モデルによる非常に強い TC の構造の将来変化  
 B357 吉野 純（岐阜大院工） 高分解能台風シミュレーションのための海面境界物理過程の改良  
 B358 和田 章義（気象研） 2009 年台風 Choi-wan と海洋との相互作用

座長：吉野 純（岐阜大）

- B359 吉岡 真由美（東北大院理） 暖水塊をもつ水惑星実験でみられた熱帯低気圧の発生  
 B360 山岬 正紀（JAMSTEC/RIGC） 台風の発生過程における環境風の効果  
 B361 柳瀬 亘（東大大気海洋研） 複数の環境場の影響下で発達する低気圧の統計解析  
 B362 北畠 尚子（気象研） 台風 1115 号の急発達前の変化と大気環境場の影響  
 B363 大城 久尚（東大大気海洋研） 台風 1112 号（Talas）の変質に対する地形の影響に注目した解析  
 B364 佐伯 拓郎（神戸大院理） 2011 年台風第 6 号の不規則運動について（第 2 報）  
 B365 吉岡 七緒（三重大生物資源） 高頻度ラジオゾンデ観測によって捉えられた台風 1105 号中心近傍の微細鉛直構造（続報）

## 生気象・気象教育

座長：杉山 昌広（電中研）

- B366 平川 紀夫（日本気象予報士会） クマゼミ初鳴日考察（初鳴日プロセス）  
 B367 藤部 文昭（気象研） 暑熱（熱中症）による国内死者数と夏季気温の長期変動  
 B368 加藤 内蔵進（岡大・教育・理科） 日本の秋から冬への遷移期の気候系と和歌に見る季節感に関する学際的授業の開発（その 2）  
 B369 杉山 昌広（電中研） 気候工学（ジオエンジニアリング）についての学部生を対象としたアンケート調査  
 B370 大橋 唯太（岡山理大生物地球） 愛媛県大洲市で発現する肱川あらし  
 — 強風の局地性と寒冷ストレスの関係 —

大会第3日〔10月5日(金)〕 13:30~17:00

口頭発表

## C 会場

## 大気境界層

座長：足立 幸穂 (JAMSTEC)

- C351 大久保 さゆり (東北農研センター) アンサンブル予測実験とダウンスケーリングを用いたイネいもち病感染危険度の予測
- C352 足立 幸穂 (JAMSTEC/RIGC) 都市気象モデルにおける都市パラメータの感度解析
- C353 北村 祐二 (気象研) a priori 解析に基づいて推定した渦粘性係数の空間解像度依存性
- C354 中西 幹郎 (防衛大地球海洋) 安定成層した接地層の相似関数について
- C355 秋本 祐子 (筑波大院生命環境) LES モデルを用いた境界層雲・霧の数値シミュレーション
- C356 澁谷 亮輔 (東大院理) LES を用いた日変化する境界層内の慣性振動の力学特性の解明

座長：名越 利幸 (岩手大)

- C357 酒井 敏 (京大人環) 地表面温度と地表面の大きさ
- C358 古屋 姫美愛 (京大院人間環境) 人工樹冠による樹冠遮断蒸発の解析
- C359 稲村 友彦 (首都大院都市環境) 局地風「まつぼり風」の発生数と低気圧経路の関係
- C360 力石 國男 (ノースアジア大学) 地形による風の増幅効果—青森市の場合—
- C361 名越 利幸 (岩手大教育) 岩手県盛岡上空の雲を伴う Lee Wave の出現頻度—岩手大学「学校気象台」ライブカメラ映像を用いて—
- C362 河野 仁 (兵庫県立大環境人間) 山岳の尾根に対する風向と乱流の関係 Rapid distortion theory 野外観測データの解析
- C363 所 立樹 (港空研) 沿岸域の測定における渦相関法と他の手法の比較

## 気象予報

座長：吉田 聡 (JAMSTEC)

- C364 大塚 道子 (気象研) NHM の気象場との比較による高頻度衛星観測データの特性調査
- C365 吉田 聡 (地球シミュレータ) ALERA2 を用いた Winter T-PARC 2009 観測システム実験
- C366 小野 耕介 (気象庁数値予報課) 気象庁メソアンサンブル予報システムの試験運用に向けた開発
- C367 石川 宜広 (気象庁数値予報) 高頻度・高密度メソスケール観測に適応した変分法同化
- C368 近藤 圭一 (筑波大院生命環境) NICAM-LETKF を用いたデータ同化実験 ～モデル誤差がある場合～
- C369 石橋 俊之 (気象研) 随伴演算子による観測データのインパクト評価とその応用
- C370 上清 直隆 (気象研) 主成分を利用した AIRS データのよる気温・水蒸気プロファイルのリトリバル 全球同化実験による確認

## D 会場

## 気候システムⅢ

座長：川合 秀明 (気象研)

- D351 可知 美佐子 (JAXA/EORC) 第一期水循環変動観測衛星「しずく」(GCOM-W1) : 概要と運用状況
- D352 吉森 正和 (東大大気海洋研) MIROC GCM における北極域温暖化増幅プロセスの診断について
- D353 出本 哲 (東大大気海洋研) MIROC における雲の海面水温変化に対する応答の評価
- D354 川合 秀明 (気象研) 下層安定度によって異なる、降水過程・放射過程における雲水の非一様性効果
- D355 川合 秀明 (気象研) 中緯度の海洋下層雲の鉛直構造 一夏の南大洋と北太平洋における地理的特徴一
- D356 河本 和明 (長大環境) 中緯度低層雲の雲粒・ドリズル・降雨遷移過程の海陸の違いについて
- D357 野原 大輔 (電中研) CO<sub>2</sub>ゼロ排出安定化による地球システムの応答
- D358 小倉 知夫 (環境研) 対流圏調節における瞬時放射強制力の重要性
- D359 釜江 陽一 (東大大気海洋研) Transpose-AMIP を用いた CO<sub>2</sub>増加に対する対流圏調節過程の特定
- D360 佐藤 尚毅 (東京学芸大) 梅雨期における黒潮フロント域の水温勾配の強化

座長：野沢 徹 (環境研)

- D361 大谷 和男 (岡山大院自然) 九州付近における近年の梅雨降水活動の変化(多降水域の南北の広がり)に注目して)
- D362 西村 奈那子 (岡山大院教育) 季節進行の中で見た日本海側での初冬における冬型時の降水量や大気過程について
- D363 内野 修 (環境研) ライダーで観測された近年の成層圏エアロゾル増加と気候等への影響
- D364 野沢 徹 (環境研) 20 世紀後半における北部太平洋域の寒冷化傾向に対する人為起源エアロゾルの影響
- D365 田中 泰宙 (気象研) 20 世紀再現実験による吸収性エアロゾルによる積雪汚染
- D366 宮坂 貴文 (東大先端研) 北太平洋十年規模気候変動の長期変動
- D367 富田 智彦 (熊大大院自然科学・JAMSTEC/RIGC) 結合 GCM 内の梅雨前線活動の数十年規模変動
- D368 釜堀 弘隆 (気象研) JRA-55 における熱帯低気圧検出率
- D369 杉 正人 (JAMSTEC/RIGC) 確率台風マップによる極端に強い台風の将来変化予測
- D370 MEHTA Sanjay Kumar (京大生存研) Longitudinal dependence in the interannual variation of the temperature anomalies

## 大会第1日 [ 10月3日(水) ] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P101 永井 智広 (気象研) Nd:YAG レーザーを用いた二酸化窒素観測用ライダーの開発(II)
- P102 増田 一彦 (気象研) 衛星赤外観測による鉱物粒子の検出
- P103 山田 芳則 (気象研) VIV 法とドップラー速度データとを組み合わせて大気中の風場を算出する試み
- P104 吉田 大紀 (気象情報通信(株)) 一体型気象センサー(CWS)の風向風速特性
- P105 奥山 新 (JAXA/EORC) 第一期水循環変動観測衛星「しずく」(GCOM-W1) :初期校正結果
- P106 堀江 宏昭 (NICT) 衛星搭載雲レーダ(EarthCARE/CPR)のドップラ速度計測シミュレーション
- P107 遠藤 寛也 (京大防災研) 静止気象衛星 FengYun-2E を用いた雲粒有効半径の観測
- P108 端野 典平 (東大大気海洋研) 衛星データシミュレータを用いた全球雲解像モデルの雲降水特性の評価
- P109 平形 麻紀 (JAXA/EORC) CloudSat/CALIPSO の複合利用による雲粒子タイプ識別の改良
- P110 石元 裕史 (気象研) AIRS 輝度温度データを用いた対流圏中層の水蒸気プロファイル推定
- P111 小林 和史 (RESTEC) NOAA/AVHRR GAC データのセンサ較正 - 経年劣化補正・ソーラーコンタミネーション補正について -
- P112 頼瀬 丈晴 (名大地球水循環) 層状性降水域のHYVIS 観測による X バンド偏波レーダー用降水粒子判別法の検証
- P113 本吉 弘岐 (防災科研雪氷) 地上降雪粒子観測による固体降水の等価レーダー反射因子の推定
- P114 斎藤 篤思 (気象研) 氷晶核測定装置の測定精度の検証 (その3)
- P115 金 東順 (防災科研) 従来法と MKDP 法から推定された比偏波間位相差の比較
- P116 本田 明治 (新潟大自然) 顕著気象イベントの準リアルタイム解析システムの構築に向けて
- P117 高橋 暢宏 (NICT) CloudSat と TRMM/PR における降水システムの特徴の比較 (続報)
- P118 栢原 孝浩 (防災科研) MP レーダ1分値を用いた関東における降雨特性
- P119 岩見 明博 (東大大気海洋研) アメダスと TRMM を用いた extreme rain の特性解析 - 時間スケールによる違い -
- P120 鶴沼 昂 (京大防災研) 日本における降水の風向依存性
- P121 佐野 哲也 (山梨大 ICRE) 台風1115号の通過に伴う盆地内斜面上の豪雨の形成
- P122 南雲 信宏 (気象研) 2005年4月10日に札幌で長時間継続した凍雨の形成機構
- P123 松下 拓樹 (寒地土研) 積雪期における降雨の発生実態(1) - 代表地点における特徴 -
- P124 杉本 志織 (北大院地球環境) 釧路の霧/下層雲に対する陸面過程の影響
- P125 林 修吾 (気象研) 高解像度モデルによる熱雷(夏季不安定性降水)の再現性(その2)
- P126 櫻井 南海子 (防災科研) X バンド MP レーダと広帯域 VHF 帯デジタル干渉計を用いた夏季に発生する雷雲の3次元観測 - MP レーダを用いた雷監視システム構築に向けた研究 -
- P127 小司 禎教 (気象研) 2012年5月6日のつくば市周辺 GPS の解析
- P128 加藤 隆之 (筑波大院生命環境) 山中湖で観測された気流の三層構造の発生メカニズム
- P129 徐 健青 (JAMSTEC/RIGC) フィリピン Laoag での地表面日射量・放射量観測
- P130 下山 宏 (北大低温研) 気圧を用いた盆地内大気に侵入する冷気移流の観測
- P131 平井 傑 (兵庫県立大) 安定時の都市大気乱流観測データに対するモニン・オブコフ相似則の適用可能性

## 大会第1日 [ 10月3日(水) ] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P132 木下 宣幸 (気象大) アスファルト道路が気温観測に及ぼす影響に関する数値実験
- P133 古橋 和樹 (兵庫県立大) 姫路市におけるヒートアイランド研究—気温分布の観測
- P134 関 隆則 (気象予報士会) 船橋市における2011年~2012年冬の結氷観測
- P135 吉田 信夫 (多治見の気温をはかる会) 多治見の夏の高温出現特性について
- P136 青柳 曉典 (気象研) 都市温暖化と地上風速変化の相関—関東甲信地方の土地利用変化に伴う気候変化シミュレーション—
- P137 嶋寺 光 (電中研) 土地利用データの変更による気象・大気質予測への影響
- P138 吉田 龍平 (農環研) 地表面パラメータに注目した四国における近年の農耕地減少が気温に与える影響
- P139 遠藤 文倫 (富山大院) 本州中部山岳域における光化学オキシダントの日変化と熱的局地循環
- P140 田中 博春 (長野県環境保全研) 水稻の気候変動影響に対する感受性評価とそれに基づく影響関数開発の試行
- P141 村崎 万代 (気象研) JMANHM による冬季北陸地方の気温予測精度の検証
- P142 佐藤 可織 (応力研) 衛星搭載アクティブセンサの光学的に厚い領域における取り扱い
- P143 妻鹿 友昭 (京大院理) 高分解能海陸マップを利用した衛星搭載放射計による海岸の降雨推定
- P144 山田 壮一郎 (東北大院理) MODIS の赤外バンドを用いた巻雲の放射特性の抽出
- P145 岡田 将誌 (農環研) 地表面日射量を推定する統計モデルの将来気候条件における適用可能性
- P146 土居 七奈美 (地球海洋学科) マイクロバブルの光散乱特性
- P147 北古賀 識帆 (奈良女子大院人間文化) SKYNET 福江島観測サイトにおける視程障害時のエアロゾルの特徴
- P148 齊藤 雅典 (東北大院理) 対流圏エアロゾルの影響を受けた薄明の空の放射伝達過程
- P149 渡辺 幸一 (富山県立大) 立山における霧水・降水化学および大気エアロゾルの観測 (II)
- P150 近藤 聖士 (名大院環境) CALIPSO で観測された2010/2011冬季の北極 PSC
- P151 原 圭一郎 (福岡大理) 夏季南極大陸上の海塩粒子: 変質と組成分別
- P152 上田 紗也子 (東京理科大) 太平洋広域で観測したエアロゾル粒子の個数粒径分布
- P153 財前 祐二 (気象研) モンテカルロ法によるエアロゾル粒子個別分析の試み
- P154 清木 達也 (理研計算科学) 非静力学モデルにおけるエアロゾル湿潤除去過程のモデリング
- P155 長岡 信頼 (東京理科大院理) 富士山で観測されたイオン濃度とエアロゾル濃度との関係
- P156 石塚 正秀 (香川大工) 地表面のクラスト崩壊とダスト発生との関係
- P157 和田 明久 (名大院環境) 黒色炭素の全球分布と長距離輸送における支配要因の評価
- P158 白崎 瑞恵 (奈良女子大院人間文化) オゾンライダーを用いた対流圏オゾンの高度分布の動態解析
- P159 高島 久洋 (福岡大理) 西太平洋—インド洋域での MAX-DOAS 法による大気組成観測
- P160 川田 大樹 (名大院環境) 化学気候モデルを用いた1991年ピナツボ火山噴火に伴う硫酸エアロゾル時空間変動の評価
- P161 大庭 雅道 (電中研) 火山噴火に伴う放射強制力が ENSO に与える影響
- P162 塘 三千代 (京大院理) 火星をイメージした地形風の数値シミュレーション
- P163 木下 仁 (福岡管区気象台) 2012年3月2日九州付近で観測された顕著な Pressure Dip について

## 大会第1日 [ 10月3日(水) ] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P164 庄司 貴成 (東北大院理) 冬季北半球における特定温位面以下の寒気質量の分布と生成・流出・消滅
- P165 木野 公朝 (筑波大院生命環境) AOI 方程式を用いた北極振動の解析的研究
- P166 長浜 芳寛 (環境研) FTIR を用いて観測された北海道上空における成層圏大気微量成分の長期変動
- P167 辻 宏樹 (九大院理) 渦の大きさの変化について
- P168 山上 晃央 (筑波大院生命環境) JRA-25/JCDAS 再解析データによる夏期の北極低気圧の構造の解析
- P169 丸山 拓海 (東北大院理) 夏季北西太平洋の下層雲の微物理特性
- P170 西中 規美子 (奈良女子大院人間文化) ニーオルスンにおける2011年春季集中観測期間の雲の分布
- P171 吉田 龍二 (理研計算科学) 20面体格子気候モデルのモデル間比較 - G8 Call:ICOMEX Project
- P172 仲江川 敏之 (気象研) 全球大気全球モデルを用いた中米地域の下層ジェットと水蒸気輸送の将来予測変化
- P173 飯泉 仁之直 (農環研) 限られた年数の気候変化予測から確率情報を生成するためのウェザージェネレータを用いたブートストラップ法
- P174 田口 文明 (地球シミュレータ) 秋の北極海と冬のオホーツク海に於ける海氷の十年規模共変動
- P175 中野 満寿男 (JAMSTEC) 現業中期予報モデルで予報された台風となった初期渦擾乱 ~T1204 (GUCHOL) の事例解析~
- P176 門倉 真二 (電中研) 統計的手法による気象要素の確率密度推定(4)—河川流域降水量の PDF の将来変化予測—
- P177 小林 ちあき (気象研) JRA-55で表現された平均子午面循環の特徴
- P178 今北 詠士 (地球温暖化グループ) 雲解像モデルを用いた台風シミュレーション解析と温暖化の影響評価~その1~
- P179 加藤 雅也 (名大地球水循環) 雲解像モデルを用いた台風シミュレーション解析と温暖化の影響評価~その2~
- P180 山浦 剛 (理研 計算科学) 梅雨降水の経年変動の準季節推移
- P181 西 憲敬 (京大院理) 雲頂高度データを用いた熱帯上部対流圏における雲の解析
- P182 萩野 慎也 (JAMSTEC/RIGC) VPRESX2010集中観測で捉えられた中部ベトナム東岸における対流活動の特徴
- P183 マルズキ (京大生存研) Cloud Propagation Study over Indonesia by Adopting Tracking Radar Echo by Correlation (TREC) Method
- P184 金丸 佳矢 (名大院環境) 熱帯海面水温の短期変動とその地域性について
- P185 櫻木 智明 (気象研) TRMM/TMI 輝度温度データを用いた台風強度推定法の改良と誤差検証
- P186 浜田 純一 (JAMSTEC/RIGC) 赤道越え北風サージの北西ジャワ降水経年変動への寄与
- P187 小山 亮 (気象研) MTSAT ラピッドスキャンデータを使った台風周辺上層風の算出とその利用の検討

## 大会第1日 [ 10月3日(水) ] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P188 横山 千恵 (ユタ大大気科学) Large-scale meridional circulations in three reanalysis datasets associated with TRMM-observed precipitation properties over the eastern Pacific
- P189 遠藤 伸彦 (JAMSTEC/RIGC) ベトナム中部における秋季降水量の20世紀における長期変動
- P190 井上 知栄 (JAMSTEC/RIGC) 東南アジアにおける秋季降水量の長期変化傾向
- P191 渡邊 武志 (北大院環境) 年々変動スケールでの西部チベット高原上空の変動とアジアモンスーン域の擾乱との関係
- P192 五十嵐 明 (東北大院理) 非静力学モデル (JMA-NHM) を用いた日本の水資源量評価
- P193 本谷 研 (秋田大教育) ルーチン気象データによる過去30年 (1980年-2010年) の東北地方における積雪水量分布の再現とその統計的応用
- P194 花房 瑞樹 (気象研) AGCM にネストした NHRM の降水量バイアス補正
- P195 一柳 錦平 (熊本大院自然科学) カナダ北極圏徒歩観測による海氷上の積雪の安定同位体比
- P196 杉浦 幸之助 (JAMSTEC/RIGC) 領域気象モデル WRF によるアルタイ山脈域の降水変動
- P197 濱田 篤 (東大大気海洋研) 局所的な環境場に基づく降水レジーム分類(2)
- P198 石川 知宏 (日本大院・総合基礎) 極値統計からみた中部地方の強風の風向特性
- P199 初鹿 宏壮 (富山県環境科学センター) 立山室堂周辺における融雪調査 (2) - 室堂山の消雪時期と植生の関係 -
- P1a0 宇野 史睦 (JAMSTEC/RIGC) 領域気候モデルにおける積雪の再現性と誤差要因
- P1a1 岡本 幸三 (気象研究所) 雲・降水域の衛星輝度温度データの同化に向けて (その3)
- P1a2 瀬古 弘 (気象研) LETKF ネストシステムを用いたシーロメータの後方散乱データやレーダの位相データの同化実験 (序報)
- P1a3 小野 耕介 (気象庁数値予報課) 特異ベクトルを補完するアンサンブル初期摂動の開発
- P1a4 増富 祐司 (埼玉県環境科学) 陸面過程モデル MATSIRO への作物生長モデルの組み込み
- P1a5 保坂 征宏 (気象研) 陸面モデル HAL の開発
- P1a6 相庭 一輝 (名大院環境) 陸域生物圏モデル BEAMS を用いたシベリア地域の水, エネルギー, 炭素収支解析
- P1a7 高田 久美子 (NIPR, NIES) 気候湿潤度による地表面熱水収支の広域変動特性の解析



## 大会第3日 [ 10月5日(金) ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 吉田 幸生 (環境研) GOSAT TANSO-FTS SWIR L2 V02.xx カラム量プロダクト
- P302 渡辺 幸一 (富山県立大) 回転翼航空機を利用した富山県上空の微量気体成分の測定
- P303 岩井 宏徳 (NICT) 2台のドップラーライダーとヘリコプターにより観測された孤立波
- P304 藤田 実季子 (JAMSTEC/RIGC) 温暖化影響評価のための GPS 可降水量データセット(GRASP)
- P305 真鍋 和太 (京大院理) 熱帯低気圧のマイクロ波放射計による降水強度推定
- P306 岩崎 杉紀 (防衛大) オーバーシュート解析における MODIS と IIR の輝度温度の違い
- P307 中島 孝 (TRIC) 可視赤外イメージャーの雲判別性能に関する基礎調査 (その2)
- P308 山口 宗彦 (気象研) マイクロ波放射計降水リトリバルのための海上の輝度温度補正
- P309 山本 宗尚 (京大院理) ヒマラヤ・チベット域の GSMaP 降水判別精度向上に向けた検討
- P310 山本 真之 (京大生存研) 赤道大気レーダーと偏光ライダーによる層状性降水内の鉛直流・降水粒子落下速度・偏光解消度の同時観測
- P311 杉立 卓治 (北大院環境) Meisei RS-06G ラジオゾンデによる湿度測定 of 気温0°Cにおける不連続な変化とその補正法
- P312 鈴木 賢士 (山口大農) 新型ビデオゾンデ受信機を用いた沖縄梅雨期のビデオゾンデ連続観測
- P313 Abdul Aziz Noor Hafizah (京大生存研) Development of Signal Processing Software for Radar Range Imaging
- P314 前坂 剛 (防災科研) 降雨層における新しい KDP 推定手法について
- P315 泉 岳樹 (首都大都市環境) 気象災害における3次元データ取得装置 (IP-S2 Lite) の利活用に関する実証的研究—つくば市北条地区での竜巻被害を対象として—
- P316 桂 啓仁 (防衛大地球海洋) セオドライトを用いた積乱雲 turret 成長速度の観測
- P317 木下 陽平 (北大院理) 合成開口レーダ干渉法データで捉えた2008年7月3日の静岡での局地的大雨における水蒸気分布
- P318 朱 心悦 (東北大院理) Observation analysis on an extreme heavy rainfall case over southern China in June 2005
- P319 津口 裕茂 (気象研) 集中豪雨事例の客観的な抽出と環境場の統計解析
- P320 田上 みゆき (九大院理) 2010年10月20日 奄美豪雨の解析 (2)
- P321 野村 光春 (電中研) 関東地方における降雪前の気温の低下
- P322 大宮 哲 (北大低温研) 北海道石狩平野における吹雪粒子の電荷測定
- P323 中村 一樹 (北大院地球環境) 降雪結晶が原因となる表層雪崩弱層形成のモデル化
- P324 吉田 智 (阪大院工) LF 広帯域干渉計を用いた雷放電モニタリングシステムの開発
- P325 足立 透 (早大高等研) FORMOSAT-2/ISUAL による雷放電の衛星光学スペクトル観測
- P326 鈴木 真一 (防災科研) 2012年5月6日常総市・つくば市に被害をもたらした竜巻の親雲の X バンド MP レーダによる観測
- P327 谷本 早紀 (鉄道総研) 2011年5月~2012年5月のやまじ風について
- P328 萩野谷 成徳 (気象研) チベット高原ナム湖畔の気象観測 (2)
- P329 馬場 賢治 (酪農大環境) 洞爺湖周辺の大気場の理解に向けた観測 (序報)
- P330 西本 良太郎 (日メン) 山岳の尾根に対する風向と乱流の関係—数値計算シミュレーション
- P331 北村 祐二 (気象研) 非静力学モデル asuca を用いた大気境界層の LES

## 大会第3日 [ 10月5日(金) ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P332 高橋 伸伍 (金沢地方気象台) 気象大学校におけるクールアイランド
- P333 清水 昭吾 (首都大院都市環境) 都市内緑地における冷気のにじみ出し現象と周辺市街地への気温低減効果
- P334 大賀 友貴 (北大環境科学院) 東京におけるオゾン濃度の季節及び短時間変動
- P335 桑原 不二朗 (静岡大工) 空間平均理論を導入した2方程式乱流モデルによる都市気象予測への適用
- P336 吉門 洋 (埼玉大理工) 東京と近郊における夏季海風系発達日の高温の状況
- P337 吉田 龍平 (農環研) 土地利用変化の考慮の有無による四国における過去20年の気温・水熱環境場の傾向差
- P338 水成 真由美 (筑波大院生命環境) 東京都で発生する夏季の短時間強雨に与える都市と海の影響
- P339 西 暁史 (筑波大院生命環境) 環境省大気汚染物質広域監視システム「そらまめ君」の地上気象観測値の特性調査 (その2)
- P340 田中 博春 (長野県環境保全研) 長野県における温暖化影響評価とそれに基づく適応策立案の試み
- P341 朝倉 利員 (果樹研) 日本における果樹の寒害の経年変化と気候変動
- P342 工藤 玲 (気象研) ライダーとスカイラジオメータから推定したエアロゾル光学特性の鉛直分布
- P343 堀 雅裕 (JAXA/EORC) 衛星搭載熱赤外域バンドを用いた雪氷面上可降水量の抽出手法の検討
- P344 山崎 明宏 (気象研) 比較検定と Improved Langley 法で決められたスカイラジオメータの検定定数について
- P345 下瀬 健一 (産総研) 太陽光発電量予測に向けた気象庁メソモデル (MSM) の短波放射量の検証 (その2) -短波放射にかかわるスキームの感度実験-
- P346 光武 伸悟 (防衛大地球海洋) 三沢における衛星データとラジオゾンデデータとの比較検討
- P347 大竹 秀明 (産総研) 気象庁週間予報モデルの日本における日射量の予測特性
- P348 石井 翔太 (東北大院理) 動的全球植生モデルを用いた気候変動に対するアフリカ大陸の火災から放出される炭素放出量の強度と周期の評価
- P349 蒲山 裕起 (北大院環境科学) 霧の落下速度と粒径の定式化
- P350 杉田 考史 (環境研) 衛星からの熱赤外域天底測定によるメタン導出のための気温・水蒸気高度分布の整備
- P351 齋藤 尚子 (千葉大 CEReS) GOSAT/TANSO-FTS TIR からのメタン濃度高精度導出のための同時推定アルゴリズムの検討
- P352 林田 佐智子 (奈良女子大) GOSAT データなどを用いた全球メタン発生領域の特性抽出と定量化 ~環境省推進費プロジェクトの紹介と進捗状況報告 (第一報) ~
- P353 村山 昌平 (産総研) フラックス観測, 酸素安定同位体観測及び群落微気候モデルにより推定された飛騨高山サイトにおける各呼吸要素の季節的変動
- P354 山口 慶人 (九大院総理工) 気候モデルにおける硫酸塩エアロゾルへのビン法導入
- P355 原 由香里 (九大応力研) 4次元同化黄砂輸送モデルによるダスト発生源の検証
- P356 田中 典章 (山梨大) 日本海および東シナ海におけるエアロゾルの光学的厚さおよび光学特性
- P357 長谷川 朋子 (東京理科大院理) 東京都心部における新粒子生成イベントと雲凝結核特性

## 大会第3日 [ 10月5日(金) ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P358 池田 恒平 (JAMSTEC/RIGC) 黄海・東シナ海の SST 解像度が春季の大気汚染物質の輸送・沈着に与える影響
- P359 武田 真憲 (筑波大院生命環境) CALIOP 及び MLS データを用いた極成層圏雲タイプとオゾン破壊の関係
- P360 櫻井 万祐子 (名大院環境) 熱帯圏界面層でのエアロゾルと巻雲生成に関する数値実験
- P361 石川 沙穂 (奈良女子大院人間文化) SCIAMACHY センサ・TANSO-FTS センサで観測されるメタンの時空間的分布変動の研究
- P362 木下 太郎 (名大院環境) CALIPSO を用いた2011年1月に出現した火山性エアロゾル層の起源の解明
- P363 橋本 明弘 (気象研) JMANHM を用いた降灰再現実験: 2011年1月26 - 27日新燃岳噴火
- P364 三浦 和彦 (東京理科大理) 富士山周辺の自由空間の気温と山頂の気温の違い (2)
- P365 府川 明彦 (東京理科大院理) 富士山頂のエアマスに対する谷風の影響
- P366 川津 秀敏 (筑波大院生命環境) 西太平洋区域ブロッキング発生とアジア北部東西風との関係
- P367 谷田貝 亜紀代 (京大生存研) IUGONET\*「超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究」の紹介
- P368 辻 隆弘 (九大院理) 2009年7月22日の皆既日食による中層大気への影響について
- P369 稲津 将 (北大院理) 隣接閉領域トラッキング法を用いた上部対流圏の渦の力学と形状
- P370 山田 亜季奈 (京大院理) 梅雨期における日本南東沖の下層強風域の解析
- P371 川上 聖 (千葉大院理) モンゴルにおける冬季低温現象とその時空間変動
- P372 杉山 大祐 (名大院環境) シンプル型南北1次元地球システムモデルへの全球水循環プロセスの統合
- P373 相澤 拓郎 (筑波大院生命環境) 2011/12年冬季の低温の解析及び過去の寒冬年との比較
- P374 長谷川 聡 (土木研 ICHARM) 統計的パイアス補正された MRI-AGCM3.2H の降水量の気候変化
- P375 釜江 陽一 (東大大気海洋研) 海陸コントラストが CO<sub>2</sub>増加時の対流圏調節において果たす役割
- P376 荒川 隆 (JAMSTEC) 全球大気モデル NICAM と海洋大循環モデル COCO の結合
- P377 安田 珠幾 (気象研) 西部熱帯太平洋における1990年代以降の海面水位上昇
- P378 小玉 知央 (JAMSTEC/RIGC) 温帯低気圧に伴う雲の SST 上昇に対する応答～水惑星実験
- P379 野沢 徹 (環境研) 20世紀後半におけるユーラシア大陸上の春季降水量変化に対する人間活動の影響
- P380 原田 裕介 (寒地土研) 気候モデルの将来予測値を利用した吹雪統計値の推定手法
- P381 長谷川 拓也 (JAMSTEC) エルニーニョによって励起されるインド洋広域昇温と PJ パターンおよびフィリピン海・東アジア周辺の大気海洋変動 —エルニーニョタイプの違いに注目して—
- P382 井上 豊志郎 (東大大気海洋研) 雲システム解像モデル (NICAM) でシミュレートされた降水の半日変化
- P383 マハヴィク ナッタボン (Climate Physics Lab) Z-R parameter variations using conventional weather radar in the middle of Indochina peninsular
- P384 角 ゆかり (名大院環境) 衛星観測データを用いた準2日振動の解析
- P385 濱田 真之 (東北大院理) 非静力学モデルを用いた Choi-wan(2009)の再現実験

## 大会第3日 [ 10月5日(金) ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P386 梶川 藍 (京大防災研) インド亜大陸北東部に卓越する降水の変動周期について
- P387 小森 友里 (京大院理) 領域気象モデル(WRF)を用いたインドシナ半島西岸沖の降水極大の再現実験
- P388 梶川 義幸 (理研計算化学) MRI-AGCM で再現された南シナ海モンスーンのオンセット
- P389 谷田貝 亜紀代 (京大生存研) インド北部ラダーク地域地域の2010年8月の鉄砲水災害時の気象条件
- P390 藤田 実季子 (JAMSTEC/RIGC) アジアモンスーンのオンセット期における擬似温暖化実験
- P391 三宮 佑介 (北大理学院) アジア海洋大陸近傍における雷放電活動と OLR の関係
- P392 大島 和裕 (地球研) シベリア 3 大河川の大気・陸域水収支に関する大気再解析データ間比較
- P393 西森 基貴 (農環研) ダウンスケーリングデータを用いた高知県における気候変動適応研究
- P394 古川 雄大 (北大院環境) 北海道道東地方における土壌凍結深変動の気候学的要因
- P395 阿部 学 (極地研) 気候モデルで再現された北極海の海水変化と雲量変化の関係
- P396 川瀬 宏明 (JAMSTEC/RIGC) 将来の気温上昇を固定したときの北陸地方の積雪変化の不確実性
- P397 佐々木 秀孝 (気象研) AGCM にネストした NHRCM による北海道における積雪の将来変化
- P398 石崎 紀子 (JAMSTEC/RIGC) 日本海上の大気と SST の温度差が冬季降水量に与える影響
- P399 島田 照久 (東北大院理) ダウンスケーリングを用いたヤマセの北日本への影響の将来変化
- P3a0 原 政之 (JAMSTEC/RIGC) 近年の日本の積雪水量の年々変動・季節変化
- P3a1 吉田 あい (筑波大院生命環境) 日本の冬季降雪を規定する大気循環場
- P3a2 沢田 雅洋 (東北大院理) 領域モデルのための側面境界の最適化
- P3a3 デュク レ (JAMSTEC) Extension of the SAL method for verification of high resolution ensemble forecasts
- P3a4 草開 浩 (気象庁数値予報) 気象庁メソモデルにおける陸面過程の改良
- P3a5 宮崎 真 (北大院地球環境) モンゴル北部永久凍土域のカラマツ林における生物季節と熱・炭素フラックスの季節変化
- P3a6 西澤 慶一 (電中研) 現実的な海陸分布を考慮したエネルギー収支モデルの開発と適用
- P3a7 久野木 梓織 (弘前大院理工) 鹿児島沖に発生した黒潮の影響を受けた降水帯の大気海洋高頻度同時観測
- P3a8 甲斐 弘士 (JSL) 個人用天気図解析支援ソフトウェアの試作開発とその使用例

## 講演者索引

## &lt; A &gt;

Abdul Aziz Noor Hafizah P313  
 Abe Manabu (阿部 学) P395  
 Adachi Sachiko (足立 幸徳) C352  
 Adachi Toru (足立 透) P325  
 Aiba Kazuki (相庭 一輝) P1a6  
 Aizawa Takuro (相澤 拓郎) P373  
 Akimoto Yuko (秋本 祐子) C355  
 Akiyoshi Hideharu (秋吉 英治) A354  
 Akter Fatima (アクター ファティマ) B303  
 Ando Yuta (安藤 雄太) C111  
 Aoki Kazuma (青木 一真) A362  
 Aoki Shuji (青木 周司) A351  
 Aoki Teruo (青木 輝夫) D313  
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) D154  
 Aoyagi Toshinori (青柳 曉典) P136  
 Arai Ken-ichiro (新井 健一郎) A108  
 Arakawa Takashi (荒川 隆) P376  
 Araki Kentaro (荒木 健太郎) A111  
 Araki Kentaro (荒木 健太郎) A119  
 Asakura Toshikazu (朝倉 利貞) P341  
 Azuma Yoshimi (東 良美) C305

## &lt; B &gt;

Baba Kenji (馬場 賢治) P329  
 Baba Yuya (馬場 雄也) D113

## &lt; C &gt;

Chen Guixing (陳 桂興) D160  
 Chen Ying-wen A164  
 Chikira Minoru (千喜良 稔) B161

## &lt; D &gt;

Dai Tie (ダイ テイ) A162  
 Demoto Satoru (出本 哲) D353  
 Deushi Makoto (出牛 真) A157  
 Doi Nanami (土居 七奈美) P146  
 Duc Le (デュクレ) D159  
 Duc Le (デュクレ) P3a3

## &lt; E &gt;

Eguchi Nawo (江口 菜穂) C308  
 Endo Fuminori (遠藤 文倫) P139  
 Endo Hirokazu (遠藤 洋和) D102  
 Endo Hiroya (遠藤 寛也) P107  
 Endo Nobuhiko (遠藤 伸彦) P189  
 Enomoto Takeshi (榎本 剛) A159

## &lt; F &gt;

Fudeyasu Hironori (筆保 弘徳) B354  
 Fujibe Fumiaki (藤部 文昭) B367  
 Fujita Mikiko (藤田 実季子) P304  
 Fujita Mikiko (藤田 実季子) P390  
 Fujita Satoshi (藤田 啓) C110  
 Fujiwara Chusei (藤原 忠誠) A112

Fukawa Akihiko (府川 明彦) P365  
 Fukuhara Tetsuya (福原 哲哉) C165  
 Furuhashi Kazuki (古橋 和樹) P133  
 Furukawa Yuta (古川 雄大) P394  
 Furuya Kimie (古屋 姫美愛) C358

## &lt; G &gt;

Geng Biao (耿 驃) D306  
 Goto Daisuke (五藤 大輔) A160

## &lt; H &gt;

Hagihara Yuichiro (萩原 雄一郎) C310  
 Haginoya Shigenori (萩野谷 成徳) P328  
 Hamada Atsushi (濱田 篤) P197  
 Hamada Junichi (浜田 純一) P186  
 Hamada Masayuki (濱田 真之) P385  
 Hamamoto Ko (濱本 昂) C167  
 Hanafusa Mizuki (花房 瑞樹) P194  
 Hara Keiichiro (原 圭一郎) P151  
 Hara Masayuki (原 政之) P3a0  
 Hara Yukari (原 由香里) P355  
 Harada Yusuke (原田 裕介) P380  
 Hasegawa Akira (長谷川 聡) P374  
 Hasegawa Takuya (長谷川 拓也) P381  
 Hasegawa Tomoko (長谷川 朋子) P357  
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) D162  
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) P363  
 Hashino Tempei (端野 典平) P108  
 Hatsushika Hiroaki (初鹿 宏壮) P199  
 Hattori Miki (服部 美紀) B307  
 Hayasaka Hiroshi (早坂 洋史) C107  
 Hayasaki Masamitsu (早崎 将光) C114  
 Hayashi Michiya (林 未知也) B308  
 Hayashi Syugo (林 修吾) P125  
 Hayashida Sachiko (林田 佐智子) A170  
 Hayashida Sachiko (林田 佐智子) P352  
 Hirai Suguru (平井 傑) P131  
 Hirakata Maki (平形 麻紀) P109  
 Hirakawa Norio (平川 紀夫) B366  
 Hiramatsu Akio (平松 章男) B206  
 Hiramatsu Nobuaki (平松 信昭) B211  
 Hirasawa Naohiko (平沢 尚彦) C101  
 Hirasawa Naohiko (平沢 尚彦) A213  
 Hirockawa Yasutaka (廣川 康隆) A117  
 Hirose Hitoshi (広瀬 民志) C103  
 Hirota Nagio (廣田 渚郎) D104  
 Honda Meiji (本田 明治) D314  
 Honda Meiji (本田 明治) P116  
 Honda Takumi (本田 匠) A110  
 Hori Masahiro (堀 雅裕) P343  
 Hori Masatake (堀 正岳) C109  
 Horie Hiroaki (堀江 宏昭) P106  
 Hosaka Masahiro (保坂 征宏) P1a5  
 Husai Letu C312

## &lt; I &gt;

Ichiyanagi Kimpei (一柳 錦平) P195  
 Iga Keita (伊賀 啓太) D301  
 Igarashi Akira (五十嵐 明) P192  
 Iida Chihiro (飯田 千尋) D208  
 Iizumi Toshihika (飯泉 仁之直) P173  
 Ikeda Kohei (池田 恒平) P358  
 Imai Koji (今井 弘二) B103  
 Imai Masataka (今井 正堯) C166  
 Imakita Eiji (今北 詠士) P178  
 Imamura Takeshi (今村 剛) C152  
 Imamura Takeshi (今村 剛) C164  
 Imasu Ryoichi (今須 良一) A169  
 Inai Yoichi (稲飯 洋一) A352  
 Inamura Tomohiko (稲村 友彦) C359  
 Inatsu Masaru (稲津 将) C212  
 Inatsu Masaru (稲津 将) P369  
 Inoue Jun (猪上 淳) C105  
 Inoue Tomoshige (井上 知榮) P190  
 Inoue Toshiro (井上 豊志郎) P382  
 Irie Hitoshi (入江 仁士) A360  
 Ishibashi Toshiyuki (石橋 俊之) C369  
 Ishidoya Shigeyuki (石戸谷 重之) A353  
 Ishihara Masahito (石原 正仁) A214  
 Ishii Shoken (石井 昌憲) B105  
 Ishii Shoken (石井 昌憲) B106  
 Ishii Shota (石井 翔太) P348  
 Ishijima Kentaro (石島 健太郎) A356  
 Ishikawa Saho (石川 沙穂) P361  
 Ishikawa Tomohiro (石川 知宏) P198  
 Ishikawa Yoshihiro (石川 宜広) C367  
 Ishimoto Hiroshi (石元 裕史) P110  
 Ishiwatari Masaki (石渡 正樹) C160  
 Ishizaka Masaaki (石坂 雅昭) A203  
 Ishizaki Noriko (石崎 紀子) P398  
 Ishizuka Masahide (石塚 正秀) P156  
 Itahashi Suiichi (板橋 秀一) A154  
 Ito Junshi (伊藤 純至) D164  
 Itsui Minoru (伍井 稔) D111  
 Iwai Hironori (岩井 宏徳) P303  
 Iwami Akihiro (岩見 明博) P119  
 Iwasaki Sugunori (岩崎 杉紀) P306  
 Iwasaki Toshiki (岩崎 俊樹) A151  
 Izumi Takeki (泉 岳樹) A106  
 Izumi Takeki (泉 岳樹) P315

## &lt; K &gt;

Kabayama Yuki (蒲山 裕起) P349  
 Kachi Misako (可知 美佐子) D351  
 Kadokura Shinji (門倉 真二) C211  
 Kadokura Shinji (門倉 真二) P176  
 Kai Hiroshi (甲斐 弘士) P3a8  
 Kajikawa Ai (梶川 藍) P386  
 Kajikawa Yoshiyuki (梶川 義幸) P388  
 Kajiwara Yusuke (梶原 佑介) B110  
 Kajiwara Yusuke (梶原 佑介) B111

- Kamae Youichi ( 釜江 陽一 ) D359  
 Kamae Youichi ( 釜江 陽一 ) P375  
 Kamahori Hirotaka ( 釜堀 弘隆 ) D368  
 Kamiijo Kenichi ( 上條 賢一 ) B101  
 Kamimera Hideyuki ( 上米良 秀行 ) B306  
 Kanada Sachie ( 金田 幸恵 ) B356  
 Kanamori Shiro ( 金森 史郎 ) B210  
 Kanemaru Kaya ( 金丸 佳矢 ) P184  
 Kaneyasu Naoki ( 兼保 直樹 ) A365  
 Kasai Yasuko ( 笠井 康子 ) A153  
 Kasai Yasuko ( 笠井 康子 ) C159  
 Katagiri Shuichiro ( 片桐 秀一郎 ) C304  
 Kato Kuranoshin ( 加藤 内藏進 ) B368  
 Kato Kuranoshin ( 加藤 内藏進 ) D117  
 Kato Masaya ( 加藤 雅也 ) C113  
 Kato Masaya ( 加藤 雅也 ) P179  
 Kato Ryohei ( 加藤 亮平 ) A109  
 Kato Takayuki ( 加藤 隆之 ) P128  
 Kato Teruyuki ( 加藤 輝之 ) A103  
 Kato Teruyuki ( 加藤 輝之 ) A118  
 Katsumata Masaki ( 勝俣 昌己 ) B153  
 Katsura Akihito ( 桂 啓仁 ) P316  
 Kawabata Takuya ( 川畑 拓矢 ) D153  
 Kawada Daiki ( 川田 大樹 ) P160  
 Kawai Hideaki ( 川合 秀明 ) D354  
 Kawai Hideaki ( 川合 秀明 ) D355  
 Kawakami Satoshi ( 川上 聖 ) P371  
 Kawamoto Kazuaki ( 河本 和明 ) D356  
 Kawase Hiroaki ( 川瀬 宏明 ) P396  
 Kawashima Masayuki ( 川島 正行 ) A301  
 Kawatani Yoshio ( 河谷 芳雄 ) D206  
 Kawatsu Hidetoshi ( 川津 秀敏 ) P366  
 Kayahara Takahiro ( 栢原 孝浩 ) P118  
 Keun-ok Lee A215  
 Kikuchi Katsuhiko ( 菊地 勝弘 ) A201  
 Kikuchi Nobuhiro ( 菊地 信弘 ) A359  
 Kim Dong-soon ( 金 東順 ) P115  
 Kino Masatomo ( 木野 公朝 ) P165  
 Kinoshita Masashi ( 木下 仁 ) P163  
 Kinoshita Nobuyuki ( 木下 宣幸 ) P132  
 Kinoshita Takenari ( 木下 武也 ) D209  
 Kinoshita Taro ( 木下 太郎 ) P362  
 Kinoshita Youhei ( 木下 陽平 ) P317  
 Kitabatake Naoko ( 北島 尚子 ) B362  
 Kitakoga Shiho ( 北古賀 識帆 ) P147  
 Kitamura Yuji ( 北村 祐二 ) C353  
 Kitamura Yuji ( 北村 祐二 ) P331  
 Kitoh Akio ( 鬼頭 昭雄 ) D108  
 Kobayashi Chiaki ( 小林 ちあき ) P177  
 Kobayashi Fumiaki ( 小林 文明 ) A105  
 Kobayashi Hiroshi ( 小林 拓 ) A363  
 Kobayashi Kazufumi ( 小林 和史 ) P111  
 Kodama Chihiro ( 小玉 知央 ) C206  
 Kodama Chihiro ( 小玉 知央 ) P378  
 Koderu Kunihiko ( 小寺 邦彦 ) B166  
 Koga Seizi ( 古賀 聖治 ) A366  
 Koike Jinji ( 小池 仁治 ) B102  
 Koike Katsuyuki ( 小池 克征 ) A209  
 Komori Yuri ( 小森 友里 ) P387  
 Kondo Keiichi ( 近藤 圭一 ) C368  
 Kondo Masayuki ( 近藤 雅征 ) A358  
 Kondo Seiji ( 近藤 聖士 ) P150  
 Konishi Hiroyuki ( 小西 啓之 ) A212  
 Kono Hitoshi ( 河野 仁 ) C362  
 Kouketsu Takeharu ( 纈纈 丈晴 ) P112  
 Kubota Hisayuki ( 久保田 尚之 ) B165  
 Kuchiki Katsuyuki ( 朽木 勝幸 ) C306  
 Kudo Rei ( 工藤 玲 ) P342  
 Kuji Makoto ( 久慈 誠 ) C309  
 Kunii Masaru ( 国井 勝 ) D156  
 Kuno Ryusuke ( 久野 龍介 ) D110  
 Kunoki Shiori ( 久野木 粹織 ) P3a7  
 Kurihara Kazuo ( 栗原 和夫 ) D114  
 Kuroda Tooru ( 黒田 徹 ) D158  
 Kuroda Yuhji ( 黒田 友二 ) C207  
 Kuroda Yuhji ( 黒田 友二 ) D305  
 Kurokawa Hiroyuki ( 黒川 宏之 ) D303  
 Kusabiraki Hiroshi ( 草開 浩 ) P3a4  
 Kusagawa Takayuki ( 草川 敬之 ) A308  
 Kusanagi Hiroshi ( 草薨 浩 ) A312  
 Kusanagi Hiroshi ( 草薨 浩 ) A313  
 Kusunoki Kenichi ( 楠 研一 ) A107  
 Kusunoki Kenichi ( 楠 研一 ) A113  
 Kusunoki Shoji ( 楠 昌司 ) D103  
 Kuwahara Fujio ( 桑原 不二朗 ) P335  
 < L >  
 Laine Alexandre D109  
 < M >  
 Maejima Yasumitsu ( 前島 康光 ) A208  
 Maesaka Takeshi ( 前坂 剛 ) P314  
 Mahavik Nattapon ( マハヴィク  
 ナッタポン ) P383  
 Maki Masayuki ( 真木 雅之 ) B113  
 Maki Taichi ( 真木 太一 ) A210  
 Maki Takashi ( 真木 貴史 ) A167  
 Maki Takashi ( 真木 貴史 ) A370  
 Manabe Kazuhiro ( 真鍋 和夫 ) P305  
 Manago Naohiro ( 眞子 直弘 ) C313  
 Maruyama Takumi ( 丸山 拓海 ) P169  
 Marzuki ( マルズキ ) B302  
 Marzuki ( マルズキ ) P183  
 Mashiko Wataru ( 益子 渉 ) A104  
 Masuda Kazuhiko ( 増田 一彦 ) P102  
 Masutomi Yuji ( 増富 祐司 ) P1a4  
 Matsumura Shinji ( 松村 伸治 ) D311  
 Matsushita Hiroki ( 松下 拓樹 ) P123  
 Mega Tomoaki ( 妻鹿 友昭 ) P143  
 Mehta Sanjay Kumar D370  
 Michimoto Koichiro ( 道本 光一郎 ) A303  
 Michimoto Koichiro ( 道本 光一郎 ) B209  
 Minda Haruya ( 民田 晴也 ) B115  
 Mitsutake Shingo ( 光武 伸悟 ) P346  
 Miura Hiroaki ( 三浦 裕亮 ) B159  
 Miura Kazuhiko ( 三浦 和彦 ) P364  
 Miyakawa Tomoki ( 宮川 知己 ) C205  
 Miyama Toru ( 美山 透 ) C112  
 Miyamoto Yoshiaki ( 宮本 佳明 ) C204  
 Miyamoto Yoshiaki ( 宮本 佳明 ) D167  
 Miyasaka Takafumi ( 宮坂 貴文 ) D366  
 Miyazaki Kazuyuki ( 宮崎 和幸 ) A155  
 Miyazaki Shin ( 宮崎 真 ) P3a5  
 Miyazawa Yoshiyuki ( 宮澤 佳幸 ) B201  
 Mizunari Mayumi ( 水成 真由美 ) P338  
 Mizuta Ryo ( 水田 亮 ) D107  
 Mizutani Fumihiko ( 水谷 文彦 ) B116  
 Mori Shuichi ( 森 修一 ) B154  
 Moteki Qoosaku ( 茂木 耕作 ) B152  
 Motoya Ken ( 本谷 研 ) P193  
 Motoyoshi Hiroki ( 本吉 弘岐 ) P113  
 Mukougawa Hitoshi ( 向川 均 ) C108  
 Murakami Masataka ( 村上 正隆 ) A205  
 Murata Akihiko ( 村田 昭彦 ) D112  
 Murayama Shohei ( 村山 昌平 ) P353  
 Murazaki Kazuyo ( 村崎 万代 ) P141  
 < N >  
 Nagahama Yoshihiro ( 長浜 芳寛 ) P166  
 Nagai Tomohiro ( 永井 智広 ) P101  
 Nagaoka Nobuyori ( 長岡 信頼 ) P155  
 Nagasawa Chikao ( 長澤 親生 ) B104  
 Nagato Yuta ( 長門 祐太 ) D309  
 Nagosi Tosiyuki ( 名越 利幸 ) C361  
 Nagumo Nobuhiro ( 南雲 信宏 ) P122  
 Naito Yoko ( 内藤 陽子 ) D205  
 Nakaegawa Tosiuyuki ( 仲江川 敏之 ) P172  
 Nakai Sento ( 中井 専入 ) A204  
 Nakajima Hideaki ( 中島 英彰 ) C302  
 Nakajima Takashi ( 中島 孝 ) P307  
 Nakajima Teruyuki ( 中島 映至 ) A152  
 Nakakushi Takashi ( 中串 孝志 ) C153  
 Nakamura Kazuki ( 中村 一樹 ) P323  
 Nakamura Kozo ( 中村 晃三 ) D161  
 Nakamura Maya ( 中村 麻耶 ) A367  
 Nakamura Tetsu ( 中村 哲 ) A156  
 Nakamura Tetsu ( 中村 哲 ) D106  
 Nakanishi Mikio ( 中西 幹郎 ) C354  
 Nakano Masuo ( 中野 満寿男 ) P175  
 Nakayama Hideaki ( 中山 秀晃 ) B204  
 Nasuno Tomoe ( 那須野 智江 ) B158  
 Ninomiya Kozo ( 二宮 洸三 ) A305  
 Nishi Akifumi ( 西 暁史 ) P339  
 Nishi Noriyuki ( 西 憲敬 ) P181  
 Nishigaki Tsuguhito ( 西垣 語人 ) B311  
 Nishikawa Masanori ( 西川 将典 ) B114  
 Nishimori Motoki ( 西森 基貴 ) P393  
 Nishimoto Eriko ( 西本 絵梨子 ) B167  
 Nishimoto Ryotaro ( 西本 良太郎 ) P330  
 Nishimura Nanako ( 西村 奈那子 ) D362  
 Nishinaka Kimiko ( 西中 規実子 ) P170  
 Nishizawa Keiichi ( 西澤 慶一 ) P3a6  
 Nishizawa Seiya ( 西澤 誠也 ) C156  
 Nishizawa Tomoaki ( 西澤 智明 ) B107  
 Noda Akira ( 野田 彰 ) C210  
 Noda Akira ( 野田 暁 ) D163  
 Nohara Daisuke ( 野原 大輔 ) D357

- Nomura Mitsuharu ( 野村 光春 ) P321  
 Nozawa Toru ( 野沢 徹 ) D364  
 Nozawa Toru ( 野沢 徹 ) P379
- < O >
- Ogata Koto ( 緒方 香都 ) C102  
 Ogawa Fumiaki ( 小川 史明 ) C104  
 Ogi Masayo ( 小木 雅世 ) D310  
 Ogino Shin-ya ( 荻野 慎也 ) P182  
 Ogohara Kazunori ( 小郷原 一智 ) C151  
 Ogohara Kazunori ( 小郷原 一智 ) C158  
 Ogura Tomoo ( 小倉 知夫 ) D358  
 Ohashi Yukitaka ( 大橋 唯太 ) B370  
 Ohba Masamichi ( 大庭 雅道 ) P161  
 Ohgane Takuya ( 大鐘 卓哉 ) B202  
 Ohgane Takuya ( 大鐘 卓哉 ) B203  
 Ohka Yuki ( 大賀 友貴 ) P334  
 Ohno Yuichi ( 大野 裕一 ) B109  
 Ohtake Hideaki ( 大竹 秀明 ) C301  
 Ohtake Hideaki ( 大竹 秀明 ) P347  
 Oikawa Eiji ( 及川 栄治 ) A361  
 Oishi Ryouta ( 大石 龍太 ) D312  
 Okada Masashi ( 岡田 将誌 ) P145  
 Okamoto Hajime ( 岡本 創 ) C311  
 Okamoto Kota ( 岡本 功太 ) D211  
 Okamoto Kozo ( 岡本 幸三 ) P1a1  
 Okubo Sayuri ( 大久保 さゆり ) C351  
 Okuyama Arata ( 奥山 新 ) P105  
 Omiya Satoshi ( 大宮 哲 ) P322  
 Ono Kosuke ( 小野 耕介 ) C366  
 Ono Kosuke ( 小野 耕介 ) P1a3  
 Oouchi Kazuyoshi ( 大内 和良 ) B355  
 Origuchi Seiji ( 折口 征二 ) D155  
 Ose Tomoaki ( 尾瀬 智昭 ) D101  
 Oshika Miki ( 大鹿 美希 ) D105  
 Oshima Kazuhiro ( 大島 和裕 ) P392  
 Oshiro Hisanao ( 大城 久尚 ) B363  
 Otani Kazuo ( 大谷 和男 ) D361  
 Otobe Naohito ( 乙部 直人 ) C157  
 Otomi Yuriko ( 大富 裕里子 ) D304  
 Otsuka Michiko ( 大塚 道子 ) C364  
 Oue Mariko ( 尾上 万里子 ) A202  
 Oyama Ryo ( 小山 亮 ) P187
- < P >
- Panwar Vivek ( パンワール ヴェイク ) B301  
 Patra Prabir A166
- < R >
- Reni Sulistyowati ( レニ スリストヨフティ ) B305  
 Rikiishi Kunio ( 力石 國男 ) C360
- < S >
- Saeki Takuro ( 佐伯 拓郎 ) B364  
 Saito Atsushi ( 齋藤 篤思 ) P114  
 Saito Izumi ( 齋藤 泉 ) D302  
 Saito Kazuo ( 齋藤 和雄 ) A307  
 Saito Kazuo ( 齋藤 和雄 ) D151  
 Saito Masanori ( 齋藤 雅典 ) P148
- Saito Sadao ( 斎藤 貞夫 ) A114  
 Saito Toshiya ( 齋藤 俊哉 ) A116  
 Saito Yasuhiro ( 齋藤 靖博 ) A115  
 Saitoh Naoko ( 齋藤 尚子 ) P351  
 Sakai Satoshi ( 酒井 敏 ) C357  
 Sakai Tetsu ( 酒井 哲 ) B108  
 Sakuragi Tomoaki ( 櫻木 智明 ) P185  
 Sakurai Mayuko ( 櫻井 万祐子 ) P360  
 Sakurai Namiko ( 櫻井 南海子 ) P126  
 Sanmiya Yusuke ( 三宮 佑介 ) P391  
 Sano Takuki ( 佐野 琢己 ) D201  
 Sano Tetsuya ( 佐野 哲也 ) P121  
 Sasai Takahiro ( 佐々井 崇博 ) A357  
 Sasaki Hidetaka ( 佐々木 秀孝 ) P397  
 Sasaki Youhei ( 佐々木 洋平 ) C168  
 Sato Eiichi ( 佐藤 英一 ) A101  
 Sato Kaori ( 佐藤 可織 ) P142  
 Sato Kaoru ( 佐藤 薫 ) D210  
 Sato Kazutoshi ( 佐藤 和敏 ) C106  
 Sato Naoki ( 佐藤 尚毅 ) D360  
 Sato Yousuke ( 佐藤 陽祐 ) D166  
 Satoh Shinsuke ( 佐藤 晋介 ) B118  
 Sawada Masahiro ( 沢田 雅洋 ) B352  
 Sawada Masahiro ( 沢田 雅洋 ) P3a2  
 Seiki Ayako ( 清水 亜矢子 ) B155  
 Seiki Tatsuya ( 清水 達也 ) P154  
 Seino Naoko ( 清野 直子 ) A311  
 Seki Takanori ( 関 隆則 ) P134  
 Sekiyama Tsuyoshi ( 関山 剛 ) A163  
 Seko Hiromu ( 瀬古 弘 ) D157  
 Seko Hiromu ( 瀬古 弘 ) P1a2  
 Shibata Kiyotaka ( 柴田 清孝 ) D204  
 Shibuya Ryosuke ( 澁谷 亮輔 ) C356  
 Shimada Teruhisa ( 島田 照久 ) P399  
 Shimadera Hikari ( 嶋寺 光 ) P137  
 Shimizu Shingo ( 清水 慎吾 ) A310  
 Shimizu Shingo ( 清水 慎吾 ) D152  
 Shimizu Shogo ( 清水 昭吾 ) P333  
 Shimoji Nobuaki ( 下地 伸明 ) A304  
 Shimose Ken-ichi ( 下瀬 健一 ) P345  
 Shimoyama Kou ( 下山 宏 ) P130  
 Shinoda Taro ( 篠田 太郎 ) B157  
 Shiogama Hideo ( 塩竈 秀夫 ) C202  
 Shiogama Hideo ( 塩竈 秀夫 ) D308  
 Shiotani Masato ( 塩谷 雅人 ) A158  
 Shiraiishi Shouji ( 白石 晶二 ) B208  
 Shirasaki Mizue ( 白崎 瑞恵 ) P158  
 Shoji Takamichi ( 庄司 貴成 ) P164  
 Shoji Yoshinori ( 小司 禎教 ) P127  
 Sudo Kengo ( 須藤 健悟 ) A369  
 Sugi Masato ( 杉 正人 ) D369  
 Sugidachi Takuji ( 杉立 卓治 ) P311  
 Sugimoto Norihiko ( 杉本 憲彦 ) C163  
 Sugimoto Shiori ( 杉本 志織 ) P124  
 Sugita Takafumi ( 杉田 考史 ) P350  
 Sugiura Konosuke ( 杉浦 幸之助 ) P196  
 Sugiyama Daisuke ( 杉山 大祐 ) P372  
 Sugiyama Masahiro ( 杉山 昌広 ) B369  
 Sumi Yukari ( 角 ゆかり ) P384
- Suzuki Junko ( 鈴木 順子 ) B168  
 Suzuki Kenji ( 鈴木 賢士 ) P312  
 Suzuki Makoto ( 鈴木 睦 ) D202  
 Suzuki Shin-ichi ( 鈴木 真一 ) A309  
 Suzuki Shin-ichi ( 鈴木 真一 ) P326  
 Suzuki-parker Asuka ( 鈴木パーカー 明日香 ) D116
- < T >
- Taguchi Bunmei ( 田口 文明 ) P174  
 Taguchi Masakazu ( 田口 正和 ) D207  
 Tajiri Takuya ( 田尻 拓也 ) A207  
 Takagi Hiroshi ( 高木 宏志 ) A168  
 Takahashi Chiharu ( 高橋 千陽 ) B163  
 Takahashi Nobuhiro ( 高橋 暢宏 ) P117  
 Takahashi Shingo ( 高橋 伸伍 ) P332  
 Takahashi Tsuneya ( 高橋 庸哉 ) A211  
 Takahashi Yoshiyuki ( 高橋 芳幸 ) C155  
 Takashima Hisahiro ( 高島 久洋 ) P159  
 Takata Kumiko ( 高田 久美子 ) P1a7  
 Takeda Masanori ( 武田 真憲 ) P359  
 Takemi Tetsuya ( 竹見 哲也 ) B160  
 Takemi Tetsuya ( 竹見 哲也 ) D168  
 Takenaka Hideaki ( 竹中 栄晶 ) C307  
 Tanaka Hiroharu ( 田中 博春 ) P140  
 Tanaka Hiroharu ( 田中 博春 ) P340  
 Tanaka Hiroshi ( 田中 博 ) C209  
 Tanaka Noriaki ( 田中 典章 ) P356  
 Tanaka Taichu ( 田中 泰宙 ) D365  
 Tanimoto Saki ( 谷本 早紀 ) P327  
 Tanoue Masahiro ( 田上 雅浩 ) A355  
 Tanoue Miyuki ( 田上 みゆき ) P320  
 Tatsuyama Yasuaki ( 龍山 康朗 ) B207  
 Terada Naoki ( 寺田 直樹 ) C154  
 Tochimoto Eigo ( 栃本 英伍 ) A306  
 Tokoro Tatsuki ( 所 立樹 ) C363  
 Tomita Tomohiko ( 富田 智彦 ) D367  
 Tomiyama Yoshiyuki ( 富山 芳幸 ) B205  
 Toyoshima Koichi ( 豊嶋 紘一 ) B353  
 Tsuboi Aya ( 坪井 彩 ) B164  
 Tsuchiya Chikara ( 土屋 主税 ) D212  
 Tsuguti Hiroshige ( 津口 裕茂 ) P319  
 Tsuji Hiroki ( 辻 宏樹 ) P167  
 Tsuji Takahiro ( 辻 隆弘 ) P368  
 Tsuruta Haruo ( 鶴田 治雄 ) A364  
 Tsutsui Junichi ( 筒井 純一 ) C203  
 Tsutsumi Michiyo ( 塘 三千代 ) P162
- < U >
- Uchida Junya ( 打田 純也 ) A161  
 Uchino Osamu ( 内野 修 ) D363  
 Uchiyama Akihiro ( 内山 明博 ) C314  
 Ueda Sayako ( 上田 紗也子 ) P152  
 Uekiyo Naotaka ( 上清 直隆 ) C370  
 Uno Fumichika ( 宇野 史睦 ) P1a0  
 Unuma Takashi ( 鵜沼 昂 ) P120  
 Ushio Tomoo ( 牛尾 知雄 ) B117  
 Ushiyama Tomoki ( 牛山 朋来 ) B304

## &lt; W &gt;

|                           |      |
|---------------------------|------|
| Wada Akihisa (和田 明久)      | P157 |
| Wada Akiyoshi (和田 章義)     | B358 |
| Watanabe Koichi (渡辺 幸一)   | P149 |
| Watanabe Koichi (渡辺 幸一)   | P302 |
| Watanabe Masahiro (渡部 雅浩) | C201 |
| Watanabe Shunichi (渡邊 俊一) | A302 |
| Watanabe Takeshi (渡邊 武志)  | P191 |
| Wu Peiming (伍 培明)         | D307 |

## &lt; X &gt;

|                    |      |
|--------------------|------|
| Xu Jianqing (徐 健青) | P129 |
|--------------------|------|

## &lt; Y &gt;

|                             |      |
|-----------------------------|------|
| Yamada Akina (山田 亜季奈)       | P370 |
| Yamada Kyohei (山田 恭平)       | C303 |
| Yamada Soichiro (山田 壯一郎)    | P144 |
| Yamada Yoshinori (山田 芳則)    | P103 |
| Yamagami Akio (山上 晃央)       | P168 |
| Yamaguchi Munehiko (山口 宗彦)  | B351 |
| Yamaguchi Munehiko (山口 宗彦)  | P308 |
| Yamaguchi Yoshihito (山口 慶人) | P354 |

|                           |      |
|---------------------------|------|
| Yamamoto Hiroki (山本 博基)   | C161 |
| Yamamoto Masaru (山本 勝)    | C162 |
| Yamamoto Masayuki (山本 真之) | B112 |
| Yamamoto Masayuki (山本 真之) | P310 |
| Yamamoto Munehisa (山本 宗尚) | P309 |
| Yamasaki Masanori (山岬 正紀) | B360 |
| Yamashita Katsuya (山下 克也) | A206 |
| Yamashita Yousuke (山下 陽介) | D203 |
| Yamauchi Hiroshi (山内 洋)   | A102 |
| Yamaura Tsuyoshi (山浦 剛)   | P180 |
| Yamazaki Akihiro (山崎 明宏)  | P344 |
| Yamazaki Akira (山崎 哲)     | C208 |
| Yanase Wataru (柳瀬 亘)      | B361 |
| Yashiro Hisashi (八代 尚)    | D165 |
| Yasuda Tamaki (安田 珠幾)     | P377 |
| Yasunaga Kazuaki (安永 毅明)  | B162 |
| Yatagai Akiyo (谷田貝 亜紀代)   | P367 |
| Yatagai Akiyo (谷田貝 亜紀代)   | P389 |
| Yokohata Tokuta (横皇 徳太)   | D115 |
| Yokoi Satoru (横井 覚)       | B156 |
| Yokoyama Chie (横山 千恵)     | P188 |
| Yoneyama Kunio (米山 邦夫)    | B151 |

|                            |      |
|----------------------------|------|
| Yoshida Ai (吉田 あい)         | P3a1 |
| Yoshida Akira (吉田 聡)       | C365 |
| Yoshida Daiki (吉田 大紀)      | P104 |
| Yoshida Nobuo (吉田 信夫)      | P135 |
| Yoshida Ryuhei (吉田 龍平)     | P138 |
| Yoshida Ryuhei (吉田 龍平)     | P337 |
| Yoshida Ryuji (吉田 龍二)      | P171 |
| Yoshida Satoru (吉田 智)      | P324 |
| Yoshida Yukio (吉田 幸生)      | P301 |
| Yoshikado Hiroshi (吉門 洋)   | P336 |
| Yoshimori Masakazu (吉森 正和) | D352 |
| Yoshino Jun (吉野 純)         | B357 |
| Yoshioka Mayumi (吉岡 真由美)   | B359 |
| Yoshioka Nanao (吉岡 七緒)     | B365 |
| Yoshizaki Masanori (吉崎 正憲) | B309 |
| Yoshizaki Masanori (吉崎 正憲) | B310 |
| Yumimoto Keiia (弓本 桂也)     | A165 |

## &lt; Z &gt;

|                      |      |
|----------------------|------|
| Zaizen Yuji (財前 祐二)  | P153 |
| Zhang Daizhou (張 代洲) | A368 |
| Zhu Xinyue (朱 心悅)    | P318 |